

The University Times

December 2014 Vol. 37

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by Eiken × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2014

CONTENTS

<ul style="list-style-type: none"> Global Leader's Voice 辰野まどかさん (一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト 事務局長) 1 2 Studying Abroad in the U.S.A 私の米国留学 3 University's Challenge 東京農工大学 4 5 	<ul style="list-style-type: none"> Journalist's Eye 羽田空港に日本初のホテル誕生 日本一肌が美しいのは何県? 6 News in English 英文記事を読んでみよう 7 Visit a Global Company 楽天株式会社 8 9 	<ul style="list-style-type: none"> Key to Success 留学トラブル解決策/ Book Review 10 Scholarship List 奨学金情報 11 IELTS World IELTS Hot News 12 	<ul style="list-style-type: none"> IELTS World IELTSテストのコツ 13 IELTS World IELTS 対策コースナビ/攻略本 14 Study Abroad Benefits 留学で培う3つの力 15
--	---	--	--

Global Leader's Voice

グローバルリーダーインタビュー

世界と戦うのではなく 世界をつなげる人になろう

Vol.7 辰野まどかさん 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト 事務局長

高校時代にスイスの国際会議に参加したことがきっかけで、世界平和やグローバル教育の実現を志した辰野まどかさん。現在は、一般社団法人グローバル教育推進プロジェクトで、人と人、人と世界をつなぐ活動を世界中で展開している。辰野さんが思い描く、真のグローバル人材とは――。

幼少期から積み重ねた 家庭での国際交流体験

幼い頃から家庭にたくさんの外国人がホームステイしていたという辰野まどかさん。母親が幼い子どもたちのために思って外国人を受け入れていたため、異文化を体験する機会が多く、当時から国際交流にはまったく抵抗がなかったそうだ。

「タイやリベリア、フィジーなどいろいろな国籍の方がホームステイしてきました」。辰野さんは、当時の家庭の様子をこう振り返る。

「毎回、外国の方が我が家に泊まるときは、『生まれ故郷の郷土料理を作る』というルールがあったんですよ。フィジーの方が郷土料理を作ることになったときに、我が家の庭を見て『この庭では作れない』とおっしゃったんです。よくよくお話を聞くと、彼女の住む地域では、地中に穴を掘って、そこに焼けた石を置き、バナナの葉などを敷き詰めて食材を載せ、土をかぶせて蒸し焼きにする、という伝統的な調理方法があるとのこと。我が家の庭では狭すぎてできませんでした(笑)」

またリベリア人の女性が家に来たときは、

母語ではない英語を教えてくれたそうだ。

「母が、スピーキングができるなら娘に教えて、と頼んでくれて。でも文法的な間違いが多く、外国人がみな英語ができるわけじゃないんだと、非常に驚いたことを覚えています」

このように、小さい頃から国際交流を身をもって体験していた辰野さんだが、以前から英語が得意だったわけではなかった。

「進学した学校には帰国子女が多く、彼らにはどうあがいても敵わない。日本人なら日本語ができればいいじゃないかと、中高時代は英語の勉強が嫌いでした(笑)」

人生をがらりと変えた 誕生日プレゼント

英語嫌いで過ごしてきた辰野さんを変えるできごとが起きたのは、17歳の誕生日のこと。母親からもらった衝撃的なプレゼントがきっかけだった。それは、「スイスで行われる国際会議に参加できる権利」だ。

「夏休みにスイスで3週間に渡って行われる国際会議に、母が申し込んでいたんです。それはもう大変な体験でした。国際会議での公用語である英語もフランス語もできない



し、会議で必要となる近代史などの知識もほとんどない。右も左もまったく分からない状態で、世界中から集まってきた人々と世界の平和について毎日話し合いをしました」

その会議を通して気づいたことは多々ある。神風特攻隊の隊員には家族や恋人を想う心がないと、他国に勘違いされていたこと、日本

の終戦記念日は、国際会議場にいた国の人たちにとっては「日本に勝った日」であること……。

「今でも鮮明に覚えているのは、会議最終日のことです。参加者全員が一言ずつ、今回の会議の感想を述べていくことになりました。私は、平和のために話し合いをしていく場が今後も続いていくといいと思います、

と言ったんです。そうしたら、参加者のなかでも最年長と思いき女性に、がつんと怒鳴られました。『何を言っているの！あなたが続けていくんじゃない！』と」

この女性の発言は非常に重みのある一言だった。これをきっかけに、辰野さんはその後、さまざまな活動に身を投じることになる。高校生ながら、大学生や社会人が参加する勉強会に参加したり、ボランティア活動のため遠方まで赴いたりした。この頃から、将来はグローバル教育を通じて世界の平和に貢献したい、と夢を描き始めた。

「17歳での国際会議への参加が、まさに私の人生におけるターニングポイントでした」

初心に戻って 米国の大学院へ留学

大学生になり、辰野さんの社会貢献活動への熱意は、さらに加速する。

「大学を1年間休学し、世界各地から集まった120人のメンバーで世界80都市を巡るツアーに参加しました。訪れる先々で、ボランティア活動とミュージカル公演を行うのです。宿泊はすべてホームステイで、その手配も自分たちでした。町で会う人々に声をかけ、自分たちの活動を説明して、ホームステイ先を見つけます。まさしく、『国際交流千本ノック』でしたね」

大学卒業後はコーチングのコンサルティングを専門的に行う企業に就職した。大学ではグローバル教育を専攻した辰野さんが、コンサルティング会社を選んだ意図とは――。

「当時、知り合いが立ち上げたNPO法人や企業が倒産する事件が、いくつか重なったことが原因です。何をすることもビジネスを知っているべきだと思いました。1年間のツアーのつながりで、アメリカで出会ったコーチングに興味を持っていたので、当時、日本において、その分野でリードしていた会社を選びました」

ここでは、NPO法人の立ち上げや広報など、経理以外の業務はすべて経験した。3年間働いたら大学院に行こう、と考えて就職したが、仕事が楽しすぎて休みも取らずに働き続けたという。そんな辰野さんを、初心に引き戻したのは、友人たちの言葉だ。辰野さんの誕生日パーティーで、友人たちが学生時代に自分が語っていた夢を覚えていて、いつ実現するか聞いてきたからだ。

「とても悩みましたが、最終的には会社を辞める決意を固めました。希望していた大学院には会社を辞めてから訪れ、まだ語学(英語)力証明の試験は受けていないけれど、どうしてもこの学校に進学したいのだと直談判しました」

辰野さんが進学先を選んだのは、SIT Graduate Institute と呼ばれるアメリカのバーモント州にある大学院。グローバル教育の実地教育や体験型学習で名高い大学院で、卒業後は国連やNPO法人などの現場で働く人が多い。

「テキストを開いた瞬間にわくわくしたことは、今でも忘れられません。机上での英語の勉強に対する苦手意識は払拭しきれていま



せんでしたが、自分の好きなことを学べる環境で、勉強に打ち込むことができました」

ここで、辰野さん流の、勉強に対するモチベーションを向上させる方法を伺った。

「留学中は、その日に学んだことを日本語でブログに書き、外に発信していました。実は、日本人のパスポート保持率は25%程度ととても低い。つまり、海外に全然出ていないのです。私は数少ない海外組の一人だから、日本人に日本語で海外の情報を届けることがミッションだと強く感じました。そうすることで、能動的に授業に参加でき、自分の勉学に対するモチベーションの向上にもつながりました。ぜひ、これから海外で学ばれる方にもおすすめしたいですね」

GiFT を立ち上げ 地球市民の育成に注力

現在、辰野さんは、一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(以下、GiFT)を立ち上げ、事務局長を務めている。

「GiFTは、グローバル教育の体験の場を日常の中につくり、その在り方を広めて行くことをひとつの使命として、さまざまな活動を行っています。例えば海外では、一緒に教育プログラムを作るパートナーを見つけ、日本の学生を送り出し、現地の学生と協力して新たなものを生み出す場を作る、というプロデュースをしています」

投資だけをしてくれるスポンサーを募るのではなく、プログラムなどを「共に創る」ことができるパートナー探しは必須だ。

辰野さんは、「地球市民というアイデンティティを意識するのは、早ければ早いほど良い」と言う。国という枠組みを超えて地球規模で立ち向かう必要のある課題に、他者と関わりながら新たな解決策を生み出せる人こそが、地球市民なのだ。

11月上旬に名古屋で開催された「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」では、地球市民というキーワードが当たり前のように使われていたとい

う。世界48カ国のESDに取り組むユースリーダーが集まったESDユース・コンファレンスにおいては、「国」という概念はなく「地球」という単位が当たり前用いられていた。

「日本の47都道府県の代表が集まって、『さて、これから日本をどうしようか』という議論をするのと同じです。そして、そこに集まった人々は、『私たちは地球市民である』ということが共通項となる。早いうちにその視点を身につけておけば、もっと自由に、世界にアクセスすることができると思います」

2013年12月には、早稲田大学で開催された「Go Global Japan EXPO 2013」(文部科学省などが主催)で、来場者参加型のワークショップ「ロールモデルカフェ」を企画した。グローバルリーダー育成スクールのIGSと広告会社アサツーティ・ケイの統計では、「自分はもうグローバル人材になることはできない」と思っている高校生の割合が、なんと55%にも上るといふ。ロールモデルカフェは、そんな高校生たちにグローバル人材をもっと身近に感じてほしい、という願いから生まれたものだ。

「10名ほどの高校生が、世界で活躍しているロールモデルを囲みます。ロールモデルの方には、生まれてから現時点までの『人生史』を語ってもらう。人生における浮き沈みを見せることで、高校生にとっては親近感がわきます。最後には、参加している高校生にも、どんなロールモデルになりたいか、自分の未来について考えてもらいます」

このプログラムの始まりと終わりでは、高校生の表情が如実に変わるそうだ。

ほかにも、日本に来ている外国人と日本人で人生を語り合う「Diversity Dialogue」という場を提供している。

「壮絶な生い立ちの人や、実は意外とそうでもない人。話をしないとその人の背景は分かりません。人はとても深い生き物ですが、見えているのはほんの一部。見た目以外のことに気づくことで、想像力が働きます。今後初めて会った人にも、それを応用できるよ

うになってもらうことが、本企画の狙いです」

自分との対話を通して 世界をつなぐ存在に

辰野さんの定義する「グローバル人材」とは、どんな要素を持った人だろうか。

「さまざまな青年育成事業に関わってきましたが、常に思うのは、世界には多種多様な強みを持った人がいて、リーダーの種類にもいろいろあるということです。みんなの前に出るリーダーもいれば、それを後で支えるリーダーもいる。大事なことは、その人が自分の強みを十分に理解していて、それをどのように生かすことでその場に貢献できるのか、ということを知っていることです。若いうちに、『千本ノック』の要領でさまざまな場所に行って多くの経験を積み、自分と向き合い、対話をしていくことが必要です」

自分と向き合っただけで対話をするのは、GiFTが地球市民を育成する際に必要不可欠としている「Grounding = 自分を知り、受け入れる」という作業にもつながるものだ*1。

さらに辰野さんは、グローバル人材は決して世界で戦う存在ではないともつけ加える。今日では、「世界に負けるな、後れを取るな」と日本人を叱咤激励する風潮にあるが、それには疑問を抱いていると語る。

「日本人は一般的な傾向として、平和主義で真面目なところがあります。そういった良いところを改めて見直し、世界と戦うのではなく、調整役として平和を作り、世界をつなぐ人材として外に出てほしい。日本人が来て本当に良かったと言われる立場になるべきです。そのほうが、長い目で見れば、みんなが笑顔で平和に生きていく環境が持続するのではないかと思います」

そんな辰野さんが、一冊の本をすすめてくれた。パウロ・コエリョの『アルケミスト 夢を旅した少年』だ。

「バックパッカーの方がよく読んでいます。羊飼いの少年が旅をしながら『人生とは何なのか』を模索するストーリー。ぜひ若い読者のみなさんに読んでほしいですね」

辰野さんのスピリットにも、どこか通じるところがある物語だ。

(英検グローバルリーダー研究グループ
伊藤南美)

*1
GiFTは日本発の「地球市民(グローバル人材)」を世界に広めることを目的に活動する。「ダイバーシティへの適応力を磨く4つの要素」として、①自分を知り、受け入れる、②他者に共感し、つながる、③共に取り組み、創り出す、④社会に参画し、還元する、を挙げている。

辰野まどか (たつの まどか)

コーチング専門会社に勤務後、米国の大学院に留学し、Intercultural Service, Leadership and Management 修士号取得。2012年12月に一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)を立ち上げ、地球市民育成推進のための活動を開始。研修、講演、コンサルティング等を行う。明治学院大学国際学部国際キャリア学科非常勤講師(サービスマネジメント担当)。

私の米国留学

アメリカ留学もIELTS™の時代へ

～IELTSはアメリカの約3,000の大学・プログラムで認定されています～



ニューヨークならではの ダイナミックな学びを実現

刺激的な学びあふれる コロンビア大学

今年の9月からコロンビア大学で学んでいます。留学を意識した最初のきっかけは、アメリカの大学に進学した高校の先輩たちへの憧れからでした。そこから自分なりに「なぜアメリカで学ぶのか」を突き詰めてみたところ、リベラルアーツを軸に置いたカリキュラム、多様性に富んだコミュニティ、常にチャレンジし続けられる環境、という3つのキーワードが浮かび上がりました。この3つを満たす環境で人格を形成し、自分の可能性を広げられると確信したのです。

コロンビア大学を選んだのは、まず、私が興味を持っている都市計画・デザイン、国際関係学を学ぶにあたり、格好の環境が整っていたからです。ニューヨークという大都会で学ぶ都市学や建築学はリアルで、好奇心をそそります。また、国際関係学部には有名な教授陣が揃い、国連本部や国際NGO・NPOの本部が多いというロケーションも魅力でした。

また、全学生に課される必修のコアカリキュラムがあり、専門分野以外でも幅広く教養を身につけられるのではないかと思います。さ

らに、大学は大都会にあり、常にアンテナを張っていないと貴重なリソースを逃す可能性があります。積極的に情報収集し、能動的に考えて行動する力を養うのに絶好の場だと考えたのです。

幅広い教養を備えた 学生たちとの交流

入学して2ヵ月が経ちましたが、期待通り、刺激に満ちた毎日を送っています。Art Humanities という授業ではメトロポリタン美術館を訪れ、絵画を鑑賞しながらディスカッションを行うなど、まさにニューヨークという地の利を生かした授業がたくさんあります。また、学生たちの幅広い知識や引き出しの多さにはいつも感激します。ある夜、友人たちと中

寮の部屋から見えるキャンパスの風景。



多くの日本人学生が、未来に大きな夢を描き、アメリカの大学や大学院に留学している。彼らはどのような生活を送り、どのようなことを学んだのだろうか。その十人十色の体験談は留学を考える読者のみなさんに、たくさんのヒントと勇気を与えてくれるだろう。

本コラムは以下の2団体の協力により連載しています。
●JGSAU (米国大学院学生会) <http://gakuiryugaku.net/>
●USCANJ (アメリカ学部卒業生ネットワーク) <http://www.uscanj.net/>

間試験の勉強を終え、深夜2時頃でしたが現代アートのお話になり、「アートとは何か」というテーマで議論が盛り上がったこともありました。

休日は街歩きへGO！ 豊かな文化を体感する

大学では、学内向けファッション雑誌のPR/マーケティング部での活動など、学業以外でもさまざまなチャレンジをしています。休日はできるだけキャンパスを出て、ニューヨークの街を探索するようにしています。美術館、博物館、ギャラリー、ミュージカル、コンサート、食べ物など、豊かな文化を存分に体感したいと思っています。

専攻は2年生の終わりに決めることになりましたが、今のところ建築や国際関係学に興味があります。残りの時間を使って、じっくり吟味していきたいですね。

学内で開催されたレイブに対するデモ。



コロンビア大学 加瀬彩乃さん

8歳から11歳までアメリカニューヨーク州で暮らす。高校卒業後、2014年秋にコロンビア大学に進学。専攻は未定だが、都市計画・デザイン、国際関係学に関心がある。



加瀬さんに一問一答！

Q 留学して成長したと思うことは？
まだ、留学して間もないので、これからだと思いますが、自己管理能力が身についたように思います。今は、時間の使い方、スケジュール管理のほか、寮の部屋の掃除、健康管理など、自律的で健康的な生活を心がけています。

Q 実りある留学にするための秘訣は？
常に目的意識を持ってメリハリのある生活を送ること。例えば、宿題は、そこから何が得られるかを考えながら取り組む、質問があれば教授のオフィスを訪ねる、遊ぶときはとことん遊ぶ。切り替えを忘れないことが大切です。

Q 留学を目指す読者にアドバイス
留学は、自分が本当に目指したいこと、やりたいことについて真剣に向き合えるまたない機会です。金銭的にも労力的にもリスクの高い投資だと思いますが、強い意志があれば必ずサポートしてくれる人が現れます。



「世界の中心」で学ぶ 醍醐味を体感する毎日

安倍総理も来校 多彩なゲストスピーカー

学部時代に、北京大学の学生と英語で議論する「京論壇」というサークルに携わっていました。そこで出会った北京大学の学生は流暢な英語で話していましたが、当時はうまく言い返すことができず、悔しい思いをしました。彼らの多くがアメリカに留学するというのに、とても刺激を受けたのを覚えています。この活動をきっかけに、大学では中国政治を学びました。そして次第に、日本の同盟

安倍総理の講演の後、壇上にて。



国であるアメリカは中国をどう見ていて、日本に何を期待しているのかということを知りたいと考え、留学の決意を固めました。

コロンビア大学を選んだのは、自分の専門である東アジア研究において、世界トップクラスの充実度を誇っていたからです。キャンパスには東アジア研究専門の図書館があり、豊富な文献にあたることができます。また、ニューヨークという立地もあって、安倍総理大臣をはじめ、フィリピン大統領、ノーベル賞作家の莫言氏など、毎週のようにゲストスピーカーが訪れます。著名な教授も多く在籍し、一方的に話を聴くのではなく、彼らと徹底的にディスカッションを行えるのも魅力です。

寮の友人たちと国連ツアーへ。



複雑な政治問題で 問われる「日本の立場」

私は東アジアの安全保障について学んでいますが、日本人が少ないということもあり、日本の立場について問われる場面が少なくありません。例えば韓国政治の授業では、北朝鮮問題、領土問題について、日本はどのような立場をとるのかを発言し、議論しなければならず、いつも緊張しながら授業に臨んでいます。

授業準備では、1つの科目につき文献を150～200ページほど読む必要があり、日々リーディングに追われている、といった感じです。修士論文をまとめるためには、教授とのコミュニケーションも重要。言語や文化面では難しさを感じますが、失敗を恐れず積極的に先生方と関わるようにしています。

温かく、誇り高さ 大学のコミュニティ

私が所属する研究所のウェブサイトでは、学生たちの写真を掲示してくれるなど、まるで家族の一員のような温かさを感じます。多くの学生が大学の周辺で暮らしており、このようなコミュニティ意識が味わえるのも、アメリカ留学ならではの魅力だと思います。

コロンビア大学 田中宏樹さん

2014年3月に東京大学法学部を卒業し、同8月からコロンビア大学東アジア地域研究修士課程で学ぶ。将来は国政に携わり、東アジア国際関係の安定に貢献したいと考えている。



田中さんに一問一答！

Q 留学して成長したと思うことは？
世界には多様な人がいると理解できたこと。友人とのディナーも、ベジタリアン、イスラム教徒など、さまざまな方への配慮が必要。こうした多様性を感じながら生活できるのは素晴らしいことです。

Q 実りある留学にするための秘訣は？
「留学に来た」という意識ではなく、そのコミュニティに所属する一員として、どんな貢献ができ、どんな活躍ができるかを真摯に考えていくことが大切です。私も留学先で活躍するために全力を尽くすことを心がけています。

Q 留学を目指す読者にアドバイス
留学前も実際に留学してからも、さまざまな困難があり、くじけそうになることがたくさんあると思いますが、どうか自分を信じて頑張ってください。「自分を信じる能力」をぜひ大切にしてほしいと思います。

グローバル教育に挑む大学

東京農工大学

農学と工学の両輪から
国際的な指導者を育成

大学創基 140 年という歴史と伝統を有する東京農工大学は農学と工学という2つの分野から、日本の産業の発展に長らく寄与してきた。グローバル化の進展とともに、その役割は拡大し、国際社会でも指導的な役割を担える高度な人材の育成を視野に、新たな取り組みが進展中だ。

高度専門職業人材の育成は
研究大学としての使命

東京農工大学は、1874年創基の前身校から数えて、140年の歴史を有する国立大学法人である。その名が示す通り、農学と工学を両輪に日本の国力の発展を支えてきた。その東京農工大学にも、国際化に向けた新風が吹いている。松永是学長にお話を伺った。

「農学と工学は、理系重要分野のなかでも特に実用性の高い分野です。グローバル化の進展とともに、日本の工業製品はますます世界に市場を広げ、安全・安心で質の高い日本の農産品に対する海外からのニーズも高まるいっぽうです。農学と工学の2分野において、高度なグローバル人材を育成することは、日本の国力という点からも、地球環境の保全や人類の持続可能な発展というより広範な観点からも、いっそう重要になっていくことは間違いありません」

東京農工大学には、およそ6000人の学生が学んでいる。うち3分の1に当たるおよそ2000名が大学院生、つまり研究課程の学生だ。同学では、「使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力」という基本理念のもと、「研究大学としての地位の確立」をビジョンに掲げて、研究と教育の両面から、国際社会で指導的な役割を担う「高度な専門職業人材」の育成に取り組んできた。

「平成28年度からはこの取り組みも第3期に入ります。すでに『世界が認知する研究大学へ』という第3期中期目標を設定しており、大学改革・研究強化をさらに推進していくことになるでしょう。高い専門知識を持つ人材の輩出を通じ、高度なイノベーション

リーダーの養成、日本の産業界の国際競争力の強化に寄与することを目指していきます。そのかわり、国際社会との対話や、海外の大学や研究機関とのネットワーク形成も重視し、力を入れているところです。こうした取り組みにより、国際社会で日本を牽引する大学としての役割を担っていきたく考えています」

AIMSプログラムで
ASEAN 諸国と連携

こうした学長ビジョンのもとで、未来を見据えたダイナミックかつ戦略的なプログラムが次々と緒につき、また次々と軌道に乗り始めている。

このうち、ASEAN 諸国との連携が目されるプログラムに、「AIMSプログラム」がある。正式な名称は、ASEAN International Mobility for Students Program といい、もともとはASEAN域内で行われていた国際学生交流プログラムである。2010年にタイ、マレーシア、インドネシアの3カ国でスタートし、2012年にベトナム、2013年から、フィリピン、ブルネイ、そして日本が加わった。

岡山隆之教授（農学部副学部長）によれば、東京農工大学は、茨城大学、首都大学東京とともに、3大学コンソーシアムを組織してAIMSプログラムを実施している。文部科学省の『大学の世界展開力強化事業』にも



東京農工大の松永是学長



堤正臣副学長・理事（広報・国際担当）



岡山隆之教授・農学部副学部長

採択されている。

「AIMSプログラムでは、農学、工学、食料科学、地域づくりをテーマに、東南アジア諸国の大学等との協働教育を展開していきます。現段階では、タイ、インドネシア、マレーシアの3カ国、8つの大学・高等教育機関がパートナーです。

東京農工大学では今年3月に短期交流プログラムを、この秋に1セメスタープログラムを開始したところですが、今後基本的には、学部の1、2年生で英語学習を中心とする2〜3週間の研修に行き、3年生の後期でASEANの大学に留学するという流れになります」（岡山教授）

派遣先大学とは単位の互換が可能で、留学中の1セメスターに12単位の取得が求められる。AIMSプログラムに参加を希望する学生は、1年次から英語力を強化するとともに、地域への理解を深めるためにASEAN留学を履修。ASEAN留学後は、将来的には、大学院のダブルディグリーコースへの進学が奨励されるとのこと。

日本からASEANに留学する学生がいるいっぽう、ASEAN 諸国からもAIMSプログラムで日本に留学生がやってくる。今年平成26年は、日本の3大学から29名（農工大からは19名）を派遣し、ASEANから35名の学生を受け入れた。平成29年までには派遣・受入それぞれ45人程度にまで増やす予定だ。岡山教授は言う。

「日本とASEANの留学生たちは、パディと呼ばれる相互サポート関係を築き、互いの留学生活を支え合うのですが、パディ制度そのものが異文化理解を深め友情を育む絶好の機会なのです。プログラムを終了した後も、友情を深め情報交換を行うネットワークは残りますから、多くのプログラム参加者が、将来、日本とASEANの架け橋となっ

てくれるよう期待しています」

学生同士のネットワークはやがて、社会の最前線で活躍する高度な専門職業人材や、リーダー同士のネットワークへと成長するだろう。地域における技術の躍進はもちろん、日本とASEAN間の学術研究の連携や、産業界での強固な協力体制まで、人間同士の絆から生まれるものは小さくないはずだ。

国際的な協働・競争に強い
研究者の養成を目指して

「世界と競える先端研究力の強化は、これからの日本にとって不可欠です」

堤正臣副学長は、そう力強く語る。若手研究者を戦略的に海外派遣し、国際競争に強い研究者を育てようとしているのだ。平成23年から25年の3年間で実施した「小型医療用機器の開発に向けた日欧共同ネットワークの形成」プログラム（日本学術振興会「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」採択）では、博士後期課程の学生8名をヨーロッパの8つの大学に送り出し、それぞれ300日以上を現地での研究にあたらせた。

「ヨーロッパにある世界トップレベルの研究機関に本学の若手研究者を派遣し、小型の医療機器や検査システムに関して、派遣先と共同研究や共同開発を行うプログラムでした。日本の未来を担う若い研究者に、海外の研究者とネットワークする力や、共同研究を実践する力をつけてもらうのが狙いです」

結果、このプログラムで作成された派遣先機関との国際共著論文は、15報を数えるに至った。プログラムに参加した8名が、1年前後の派遣期間中に、一人およそ2報の国際共著論文を書き上げたことになる。堤副学長によれば、これは「かなりの高効率」だ。世界の研究者と英語で堂々と討論をし、共同研究をし、論文の発表においても出遅れないような競争力が、確かに日本の研究者にも求め



グローバルカフェでのインターナショナルランチ。



リーディング大学院生によるポスター発表。



小金井(左)、府中(右)にそれぞれキャンパスを有する。

られているのである。

このように、日本の若い研究者が国際的な舞台上で活動していくためには、語学力の強化も避けては通れない。このため同学でも学部レベルからの語学力強化を目指し、春と夏に数週間の海外語学研修プログラムを実施している。行先はアメリカ、イギリス、オーストラリア、シンガポールの4つの大学で、それぞれ8名から17名程度を派遣する。

また文部科学省が平成25年に開始した官民共同海外留学支援制度、「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」への学生の応募も奨励しており、第1期には5名の学生が、アメリカ、イタリア、イギリスの大学に、3ヵ月から1年の留学を果たした。

東京農工大学では、大学間交流協定を締結している海外の大学から、「科学技術短期交流プログラム(STEP)」を通じて、例年20

名前後の留学生を受け入れている。AIMSプログラムと同様、大学間の交流拡大と、国際共同研究を進める布石として、留学生受け入れの意義は大きい。

「2013年には、府中キャンパスと小金井キャンパスのそれぞれに『グローバルカフェ』を開設しました。英語ネイティブスピーカーの留学コーディネーターが中心となって、英会話レッスン、読書会、インターナショナルランチなどを行い、留学生と日本人学生の交流の場として活用されています」(堤副学長)

5年一貫教育を特徴とする新しい大学院教育

研究大学としてのさらなる躍進に向け、東京農工大学では、「食料」「エネルギー」「ライフサイエンス」の3分野を中心とする「グローバルイノベーション研究院」を平成28

年に開設する。3分野における世界トップレベルの外国人研究者を招へいし、国際共同研究、国際共著論文などに力を注いでいくもようだ。

大学院教育に関する新しい取り組みとしては、博士課程の前後期を貫く5年体制の教育プログラムを提供する「グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大学院」の存在も注目される。生命の源である「食」をめぐる地球規模の課題に取り組み、食の生産性やエネルギー依存形態を変革するグローバルリーダーの養成が目標だ。プログラムでは、農学系の学生は工学系の基礎科目を、工学系の学生は農学系の基礎科目を優先的に履修し、より広い学問領域への理解を深めていく。加えて基盤科目(ファンデーション科目)では、人間力アップやリーダーシップを視野に、日本語表現、デザイン、法律、

経済、歴史、あるいは説得力やリスク管理、交渉力などについても学ぶ。

「農学や工学は、実学(実践科学)の代表的な分野ですから、研究課程の早い段階から、学生がさまざまな形で共同研究に携わったり、学会で発表したりする機会を設けています」と松永学長。実践と経験を積み重ね、やがてグローバル社会に羽ばたく若き日本の研究者たち。その未来に期待したい。

東京農工大学

1874年に設置された内務省農事修学場および蚕業試験掛を農学部、工学部の創基とし、1949年に大学を設置。農学と工学を中心に融合分野も含めた幅広い教育研究分野を備える。国際社会で指導的な役割を担う人材を育成することもミッションのひとつに掲げる。

世界基準のビジネス英語能力テスト

BULATS

The Business Language Testing Service

日本でも約400の企業・団体が採用!

- 三井物産 ●住友商事 ●三菱重工業 ●商船三井 ●メルリランチ
- 日立製作所 ●ユニリーバ・ジャパン ●エーザイ ●日本電気 ●富士通 ●伊藤忠テクノソリューションズ ●ヒルトンホテル ●旭硝子
- 横河電機 ●リクルートホールディングス ●毎日コミュニケーションズ ●日産ディーゼル工業 ●長瀬産業 ●オリジン電気 ●サントリー
- PFU ●富士通オートメーション ●富士通ラーニングメディア
- ヤンマー ●シェーンコーポレーションジャパン ●JAC Japan
- カネカ ●ブリティッシュ・カウンシル ●マースク ●佐川グローバルロジスティクス ●日本テキサス・インスツルメンツ ●マーレエンジンコンポーネンツジャパン ●ニフコ ●ユーロクリア・バンク ●ネスレ日本
- 全日空商事 ●大日本住友製薬 ●バイオ・ラッドラボラトリーズ
- ジャパンフード ●アマゾンジャパン ●アイ・アム ●早稲田大学理工学部 ●広島大学 ●熊本大学 ●京都大学 ●神戸大学ESS 他多数

世界と繋がるために

Are you sure your message is getting through?

BULATS
Fast, reliable,
and global

Standard Test

リスニング/リーディング/語彙問題

¥ 2,900 (税込み)

Computer Test

リスニング/リーディング/語彙問題

¥ 2,900 (税込み)

Speaking Test

ネイティブ試験官との対面式

¥ 6,900 (税込み)

Writing Test

記述式

¥ 3,900 (税込み)

詳細は

<http://www.eiken.or.jp/bulats/>

お問い合わせは

Tel : 03-3266-6366 Email : stepbulats@eiken.or.jp



UNIVERSITY of CAMBRIDGE
ESOL Examinations

BULATS(ブラッツ)は、公益財団法人日本英語検定協会と英国ケンブリッジ大学の語学試験機関であるケンブリッジ英語検定機構が共同開発したテストサービスです。



Vol.27 by Atsushi Kodera

英字新聞記者の視点

日本のニュースを英語で発信しよう

日本で起こっていることを外国人に伝えるときは、物事の背景を理解し、わかりやすく説明するスキルが求められる。英字新聞 The Japan Times の記者に、日本の「今」を世界に伝えるためのコツを教えてください。

Topic 01

羽田空港に日本初のホテル誕生

Passengers changing flights at Tokyo's Haneda airport will get a new option for layovers when their body clock demands nothing but a place to crash. A new hotel will offer transit travelers a room and a shower without having to clear passport control.

東京・羽田空港で飛行機を乗り換える乗客は、体内時計がとにかくただ寝る場所だけを求めているとき、乗継の時間を過ごす新しい選択肢を得られるだろう。新しいホテルのおかげで、乗継の旅行者はパスポート・コントロールを通過することなく、部屋とシャワーを得られるのだ。

入国審査を通らずに宿泊できるのも魅力

飛行機の長い乗り継ぎ時間は、誰にとってもつらいものです。特にそれが深夜に及ぶとなると、ホテルの部屋を取って休みたいと思う人もいます。東京の羽田空港で、そんな乗継客のための新しいホテル「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」がオープンしました。羽田空港の国際線ターミナルに隣接した313室の大型ホテルで、その一部はトランジット・エリア内に入口があります。つまり、パスポート・コントロールを経ることなく、入国前に宿泊することができるのです。

こういったホテルは一般に「トランジット・ホテル」と呼ばれ、シンガポールのチャンギ空港や韓国の仁川空港などに例がありますが、日本ではこのロイヤルパークホテル ザ 羽田が、初めてのケースとなります。

トランジット・エリアから利用できる部分

には、17の部屋と8つのリフレッシュルーム、さらにラウンジがあります。リフレッシュルームにはソファとシャワー、テレビがあり、短時間の休憩に利用することができます。一般の入口とトランジット・エリアから利用できる部分ははっきりと区切られていて、ホテル内で「入国」することはできません。

世界で認められた羽田は5スター空港

羽田空港の国際線は、今年の3月に大幅に増加し、1日の便数は17都市55便から、23都市77便となりました。旅客数の増大から、こういったトランジット・ホテルへの需要が高まるものという見込みがあるようです。

実は羽田空港は、世界の空港や航空会社の評価を行うリサーチ会社 Skytrax (スカイトラックス) によって、日本では唯一、「5つ星空港」にランクされています。ほかに5つ星と認定されているのはシンガポールの



ロイヤルパークホテル ザ 羽田のメインエントランス / Yoshiaki Miura

チャンギ空港、韓国の仁川空港、香港国際空港など、ごくわずかです(ちなみに成田と関西空港は4つ星)。Skytraxによると、羽田空港の評価が高い理由としては、公共の交通機関によるアクセスが充実していること、空港内各施設があまり離れていないこと、トイレを含め施設内が清潔であること、買い物や食事の場所が充実していること、などが挙げられています。今回トランジット・ホテルがオープンしたことで、さらに評価が高まるか

もしれません。各国の空港の評価がどのようになっているか、興味のある人は、ぜひ Skytrax のサイトを見てみてください。Skytrax Airport Ranking (Haneda) <http://www.airlinequality.com/AirportRanking/hnd.htm> (英文)

*参考記事
<http://www.japantimes.co.jp/news/2014/09/26/business/transit-hotel-serve-layover-passengers-haneda/>
<http://www.airlinequality.com/AirportRanking/hnd.htm> (英文)

Topic 02

日本一肌が美しいのは何県？

Women in Shimane Prefecture have the most beautiful facial skin among the nation's 47 prefectures, while those in Gunma Prefecture are the least blessed in terms of skin condition, according to a major cosmetics manufacturer.

大手化粧品会社によると、日本の47都道府県のなかでも、島根県の女性は顔の肌が最も美しい。一方で、肌の状態に関しては、群馬県の女性が最も恵まれていないと言える。

全国59万人の女性の肌データを分析

ポーラ化粧品は、毎年「日本美肌県グランプリ」というイベントを開催していて、今年、島根県が3年連続して第1位に選ばれました。2位は高知県、3位は愛媛県。ちなみに最下位は群馬県で、栃木県、滋賀県がそれに続いています。

この「美肌県」の分析結果は、ポーラ化粧品の店舗に来店した全国約59万人の女性のデータを基にしています。調査には、同社独自のスキンケア・カウンセリング・システム Apex (アペックス) が使用されました。

美肌の要素は「角層細胞が整っている」(consistency of the outermost layer)、「シワができてにくい」(wrinkle resistance)、「シミができてにくい」(freckle resistance)、「

ニキビができてにくい」(acne resistance)、「肌が潤っている」(moisture)、「キメが整っている」(surface smoothness) の6つ。島根県は特に、「角層細胞が整っている」「シワができてにくい」「肌が潤っている」という点において際立っています。

ポーラ化粧品によると、「太陽の光にさらされる度合いが低いと、紫外線の影響を受けにくく、また湿度が高いと、肌の潤いが保たれる」とのことです。島根の場合は、日照時間が短く、湿度が高いということが、有利な条件となっています。

「肌荒風」が決め手のひとつ

順位の低い群馬県や栃木県、滋賀県などは、日照時間が長く湿度が低いというほかに、肌に悪い影響を与えるとされる「肌荒風」(skin-damaging wind) の影響が大きいようです。「肌荒風」には、秋から冬にかけて関東内陸に吹く乾燥風と、冬から春にかけて中部や関西、中国地方・九州北部に吹く突

風とがあり、乾燥風が吹くと肌が乾き、突風が吹くと肌が冷えてやはり乾燥してしまうようです。肌荒れを防ぐ対策としては、化粧品で補うと同時に、マッサージで血行を促進することも有効であるとされています。

ほかの県を見てみると、秋田、山形など日照時間の短い県はやはり上位にきています。東京は意外にも11位と比較的順位が高く、湿度や日照時間に関してはあまり有利とはいえないのですが、生活習慣が整っていることが、順位を上げている理由のようです。県によって異なる日本の肌事情を、外国人に説明してあげると興味を持ってもらえるかもしれません。

美肌県グランプリ 2014

<http://www.pola.co.jp/special/bihadaken/>

*参考記事
<http://www.japantimes.co.jp/news/2014/11/12/national/science-health/shimane-retains-title-home-beautiful-skin-japan/>



This month's selections from The Japan Times

～ 英文記事を読んでもよう～

Actor Ken Takakura, who defined image of yakuza anti-heroes, dies at age 83

MARK SCHILLING
SPECIAL TO THE JAPAN TIMES

I've long felt that the world outside Japan, with exceptions, didn't fully understand the greatness of Ken Takakura, who died on Nov. 10 at age 83 from malignant lymphoma. Unlike Toshiro Mifune, who made the leap to global stardom on the strength of his appearances in a handful of Akira Kurosawa classics, Takakura remained largely a domestic phenomenon, despite starring in dozens of hugely popular yakuza action films for Toei and appearing in the occasional Hollywood film.

American scriptwriter Leonard Schrader tried to raise Takakura's international profile with his script for "The Yakuza" (1974). Directed by Sydney Pollack and co-starring Takakura and Robert Mitchum, this genre homage unfortunately arrived when yakuza films were past their peak and Takakura had tired of playing stoic gangsters who embodied traditional (if mostly fictional) yakuza virtues, while wielding a deadly swift sword.

No wonder, since he had soldiered through essentially the same role in film

after film, series after series — the straight-arrow outlaw or wanderer, staunchly loyal to those he feels obligated to. Though seemingly naive compared with the conniving and sneering types around him, this character becomes a coolly efficient fighter and killer. The Takakura hero was a man among strong, silent Japanese men, as well as an outsider who took on corrupt gangland powers with a blithe fearlessness that inspired 1960s Japanese students in their own battles with authority. At the same time, he exuded an unforced sincerity and shy charm, which could inspire friendship and love, though, by the last reel he had usually left his woman of the moment — a stoic to the end.

It's easy to believe that Takakura was born into this sort of role; he embodies it so effortlessly in the films from his 1960s and 1970s heyday, such as the "Showa Zankyo-den" ("Remnants of Chivalry") series he made from 1965 to 1972. But to watch him in his earlier films, including the comic salaryman types he played after entering Toei in 1955, is to see him evolve and develop as an actor. In his first films with Teruo Ishii, who made



Actor Ken Takakura (left) appears in 1977 film "Shiawase no Kiiroi Hankachi" ("The Yellow Handkerchief"), along with Kaori Momoi (center) and Tetsuya Takeda. Takakura died of malignant lymphoma in Tokyo on Nov. 10. KYODO

Takakura a star with his 1965 smash "Abashiri Bangaichi" ("Abashiri Prison"), his gangsters are simple-souled types who are easy to underestimate, until they prove themselves in a pinch.

By the time the second film in the series was released, he displayed a new kind of cool as an ex-con who returns home and becomes involved in a turf war between rival gangs. When a scary-eyed enforcer for the other side approaches Takakura on the docks and calls him a gangster, he denies it with a smile. "If you're not a gangster, what is that?" the enforcer asks, pointing to a tattoo on Takakura's arm. Flicking a

lighter, Takakura proceeds to burn it off while whistling a tune, until the enforcer blanches and retreats. And a legend is born.

By the time of his death, Takakura, with 205 films to his credit, had become an industry elder whose later roles involved no action whatsoever — from the elderly wanderer in Zhang Yimou's 2005 "Riding Along For Thousands of Miles" to the retired prison counselor in his last film, Yasuo Furuhashi's "Anata e" ("Dearest"), in 2012. But inevitably he was still Takakura, one of Japan's last true movie stars, of a type that has all but vanished.

(Nov. 19, 2014)

NHK drama's foreign star says Japan has strengthened her

SHUSUKE MURAI
STAFF WRITER

Charlotte Kate Fox, lead actress in the NHK morning drama "Massan," said Wednesday that like the character she plays, she has grown stronger since coming to Japan.

Becoming the first foreign actress to hold a starring role in one of Japan's most popular TV series was a daunting challenge, she said during a news conference at the Foreign Correspondents' Club of Japan in Tokyo, accompanied by senior "Massan" producer Ken Sakurai.

"I sort of thought it was a joke," Fox said of when she was invited for a screen test. "I flew to Japan for the first time in my life, and I was terrified."

Fox plays the role of Ellie, the Scottish wife of Masaharu Kameyama, who starts Japan's first whiskey distillery in Osaka.

This was during the Meiji and Taisho eras, a time when Japanese society was especially closed and suspicious of for-

eigners, and the drama shows how they helped each other overcome their various challenges.

Like Ellie, Fox was overwhelmed at first by the language barrier. As an actress, she also faced NHK's tight shooting schedule.

"They set out before me all of the scripts of 150 episodes (in Japanese) . . . and I think it was to scare people. . . . This whole process has been continuously the hardest thing I've ever done in my life."

However, like Ellie, facing such challenges has borne fruit.

"Now I'm a much stronger woman, I'm a much stronger actress," Fox said. "Japan has given me everything. . . . Now, I'm just amazed at what I'm doing. It's really incredible they were able to make this piece of art . . . in the most unlikely and most impossible circumstances."

Sakurai said through an interpreter: "As this young actress works through the series . . . we see her developed not

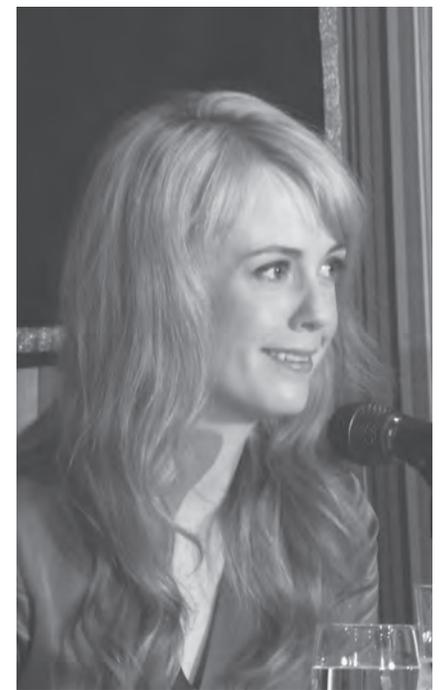
only as the heroine of the story, but also as an actress. . . . That's part of the great appeal of watching this morning program.

"I believe that in Charlotte-san's case, the story becomes doubly appealing, because we see Charlotte-san going through the language of Japan, learning the customs of Japan," he said. "We see her struggling with being apart from her homeland, from her family."

Sakurai said the series depicts the hardship and adjustment of a foreigner coming to Japan, just like Fox herself has experienced.

"One of the things that we wanted to emphasize in the show was that in spite of things that (Ellie) perhaps found distasteful or unpleasant that she really cannot accept, she still manages to find good things about Japan," he said. "These are things we would refer to . . . the wonderful, traditional, positive aspect of Japan."

"It's an almost impossible, almost insane undertaking. However, Charlotte-



Charlotte Kate Fox, who plays Ellie in the NHK morning drama 'Massan,' holds a news conference Nov. 5 in Tokyo at the Foreign Correspondents' Club of Japan. SHUSUKE MURAI

san has risen to the challenge with great courage. She has overcome all these obstacles and hardship through breathtaking effort," Sakurai said. "I think being able to encounter and come together with Charlotte-san is like winning the jackpot in the takarakuji (lottery)." (Nov. 6, 2014)

ゴールはあくまで世界一 「楽天主義」で世界に挑む

世界中へと広がる 楽天のビジネスモデル

楽天株式会社の創業は1997年。インターネット上のショッピングモール「楽天市場」のサービスから事業をスタートさせた。全国各地の店舗が、インターネット上で仮想商店街を形成する。出店店舗は独自にサイトをデザインし、オリジナリティあふれる売り場を作ることができる。また、ユーザーとeメールやSNSを通じてコミュニケーションを取り、ユーザーに買い物を「楽しむ」というエンターテインメントを提供することもでき、他のECサイトにはないユニークなビジネスモデルとして、ユーザーを惹きつけている。

同社は「世界一のインターネット・サービス企業」という目標と「インターネット・サービスを通じて、人々と社会をエンパワーメントする」というミッションを掲げて事業を拡大してきた。現在では、トラベル、金融、電子書籍など、私たちの生活に必要な60以上もの幅広いサービスを有機的につなぎ、会員に提供する「楽天経済圏」というビジネスモデルを確立している。

ユーザーは楽天会員IDを取得し、グループ内の各サービスで利用できる。会員が楽天経済圏内で買い物やサービスを利用すると、「楽天スーパーポイント」が付与され、他のサービス利用時などにポイントを使うことができる。これにより、会員のグループサービス内での回遊的で継続的な利用を促している。これらのサービスは日本国内にとどまらず、「楽天経済圏」は世界へ広がっている。

グローバル人事部採用推進課副課長・新卒採用グループマネージャーの清水香織さんは「私たちは、楽天だけが事業規模を拡大して利益を得ていけばいいとは思っていません。世界中の人と社会をエンパワーメントする、という使命感を持って、さまざまな側面から世の中を変革し、より良い影響をもたらしていくという使命を持っているのです」と話す。

自ら行動を起こし 「楽天主義」を体現

このように、さまざまな事業を展開する楽天グループには、世界各国から多国籍・多文化の社員たちが集う。採用にあたって大切にしているのは、グループの根幹を成す行動指針となる「楽天主義」に共感し、体現していくことのできる人材であること。楽天の社員には、幹部であろうと一般社員であろうと、国籍や性別、年齢に関わらず、一人ひとりが自ら考え、判断し、実行することが求められるのだ。

「社員には若手のうちから任せられる裁量が大きく、個々に求められるレベルは高いと思います。チャンスは無限に広がっており、例えば新しいプロジェクトが始まる際には、オープン・ジョブ・ポスティングにより、自ら意欲的に名乗り出た社員が、プロジェクトメンバーとして携わることもあります。チャンスは自らつかむものであり、自分次第でいくらでも可能性を広げていける会社なのです」と清水さんは説明する。

社内では日々、新しい動きが何かしら起きている。そんな活気ある職場で自分の個性や能力を発揮し、可能性を広げていくためにも、社員には「楽天主義」を徹底させているという。

「弊社では採用段階から『楽天主義』を示して、ブランドコンセプトや成功のコンセプトへの理解を促していますし、入社すると新入社員研修を通じて、あらためてその理解を深めてもらいます」と清水さん。その後も折りに触れて、社員研修の場で『楽天主義』について再認識させているという。さらに、社内にはブランドコンセプトや成功のコンセプトが掲示され、社員証の裏面にも明示されているため、社員には自ら仕事を進めていくう

世界中の人々に、インターネットを通じてエンパワーメントをもたらすことを使命に掲げ事業を拡大してきた楽天株式会社。

社員一人ひとりが「今、自分は何をすべきか」を考え、意欲的に行動を起こしていることが、大きな強みだ。



グローバル人事部採用推進課副課長・新卒採用グループマネージャーの清水香織さん

での行動指針として「楽天主義」が意識づけられていくのだ。

そして、毎週火曜朝の全社ミーティングでは、各国をテレビ会議でつなぎ、楽天グループの世界中の全社員に向けて、代表取締役会長兼社長の三木谷浩史氏が自らの言葉で語りかけ、各担当者が最新の情報や成功事例を共有し、今どんな事業が進もうとしているのか

などをオープンにする。

「会社の規模が大きくなった現在であっても、トップが社内を見渡し、自らの考えを伝えていく場があることで、社員との距離感を縮め、刺激を与えています。社員が公平性や透明性を感じるにより、一致団結して新たな展開に乗り出そうとする空気が生まれていると思います」と清水さんは語る。

自ら目標を設定して 成し遂げる姿勢を

多様な社員がともに働く職場での公用語は英語だ。役員会議、経営会議、全社ミーティングなどは英語で行い、社内資料も英語でまとめられる。入社に際しても採用段階で英語力を示すスコア提出が必要になるが、採用が決まった候補者には、さらに入社までに社員の共通の基準となるスコアに到達しておくことを求めている。

清水さんは「英語は楽天で仕事をするうえでのベースの部分」であり、英語だけが必須スキルではないと言う。むしろ、仕事をするうえで社員自身が「自分はどうか」「これからどんな成長を遂げたいか」と常に問いながら、「その時々で必要なスキルを身につけていく姿勢が大切」と話す。

「よく“Get Things Done”という言葉を使うのですが、さまざまな手段を凝らして、何が何でも物事をやりきる、というマインドを鍛えていくことが大切だと思います。自分で目標を設定し、いかに達成するか。目標に



全世界から優秀な人材を採用しようと、2012年から社内公用語を英語に移行した。



創業わずか20年足らずで
グローバル企業へと成長を遂げた。

向かって意欲的に取り組もうとする姿勢が重要なのです」

社内では日々、新たなプロジェクトが立ち上がり、変化を遂げている。だからこそ、柔軟に対応できることも必要であり、社員には自らが置かれた立場を把握し、先を見据えて、今、自分がどうすべきかを考えて行動することが求められるのだ。

社員の意欲を引き出す細やかなフォロー体制も整っている。毎月、何らかの成果を生み出したプロジェクトや社員を20人ほど選出し、全社ミーティングで表彰するのだ。こうして自らの価値が認められることで、さらなる意欲が高まり、周りの社員への刺激にもつながる。自ら考え、行動すれば、成果が生まれる。その成果が認められて、さらに意欲的に行動できる社員が育っていく。このような良い循環が社内を活性化している。

世界のどこにいても 同じ成果を生める人に

国籍も性別も年齢も問わず、世界中の全社

員が自らの能力を発揮し、活躍する土壌が根づく社内において、いわゆる「グローバル人材」という概念はあるのだろうか。清水さんは次のように語る。

「採用時の面接などで、入社後は海外で活躍したいとおっしゃる学生さんがたくさんいます。しかし、海外だけが活躍の場ではありません。世界のどこにいても同じパフォーマンスを発揮できる人が真のグローバル人材であり、それは日本国内にいても同じです。ただ海外へ行けばいいということではありません。むしろ、グローバル企業である楽天の本社に在るからこそ、全世界を見つめ、動かしていけるという醍醐味を味わうこともできます。まずは日本でビジネスパーソンとしての経験を積み、能力を高め、視野をグローバルに広げたくらうて世界へ出て行き、成果を生み出せるようになってほしいと思います」

企業規模が拡大し、同社に求められる社会的責任も同時に大きくなってきている。だからこそ、「世界に貢献できる企業でありたい」という。そのためにも、社員には「仕事への

自信と誇りを持って、自らが会社を作り上げていくのだと認識し、責任を持って臨んでほしい」と期待をかける。

だからこそ、清水さんは学生に向けてこう呼びかける。

「ぜひ、学生のうちに自分の意志を持って何かをやり遂げる経験を積んでください。自分の決断や行動に対して責任を持って成し遂げることができる人材を、私たちは求めています」

Corporate Information

楽天株式会社

1997年に「世界一のインターネット・サービス企業」を目指して創業。「インターネットでは物を買わない」と言われた時代に、インターネット上の仮想商店街となる「楽天市場」を生み出す。現在では、EC、電子書籍、ポータル&メディア、トラベル、通信、証券、銀行、クレジットカード、電子マネーなど、60以上ものサービスを会員向けに提供する世界でも類を見ないビジネスモデルを創出。世界をエンパワーメントするために、国際展開を意欲的に進めており、多様な国籍やバックグラウンドを持つ社員が集まる。

グローバル企業の先輩に聞く！

目に見える成果を出して 次なるステージへ挑みたい

菅又 渚さん 楽天株式会社
楽天市場事業 マーケティング部
グローバル ECサポートグループ

Q 現在の仕事について教えてください。

楽天の海外子会社で展開しているECサービスのマーケティングチームに対して、サポートを行うのが、私が所属する部署のミッションです。海外のマーケティングでは、いかに新規の顧客を獲得するかに主眼が置かれることが多いのですが、日本では現在の会員をどのように育てるか、ということを重視します。もちろん、自分たちのやり方をそのまま押しつけるのではなく、それぞれの国の実情を鑑みて、最適なマーケティングを展開する仕組みづくりを考えています。

Q どんなときに仕事のやりがいを感じますか。

ひとくちに楽天の海外子会社といっても、これまでは、各国それぞれの基準でマーケティングの成果を数値に表していることが少なからずありました。しかし、違う基準で出された数字を比べても最適なソリューションは実現できません。そこで、より効果的なコンサルティングが行えるよう、その基準を整えることに注力しました。これが実現できたときは、とても大きな達成感を感じました。

コンサルティングでは、相手国のサービス規模や競合などをとことん調べて課題点を抽出し、改善方法を提案して実行します。それが最終的に業務の効率化や売上の向上など、

目に見えるかたちで結果が現れたときには、これまでの苦労が吹き飛びます。まさに、この仕事の醍醐味を感じる瞬間ですね。

Q 業務では英語を使っていますか。

海外とのやりとりはすべて英語、社内では8割といったところでしょうか。年に数回、海外出張の機会もあります。

さまざまな国のスタッフとの仕事は「日本の当たり前」が通用せず、困難に直面することも少なくありませんが、だからこそ発見が多いし、おもしろいと感じています。国は違えど、大切なのはコミュニケーション。出張先でもなるべく現地のスタッフと食事をするなど、お互いを知る努力が必要です。

Q 社内英語公用語化にはどう対応しましたか。

英語化が発表されたとき、実はそれほど動揺しなかったんです(笑)。

大学2年生のときに米国サンディエゴに2ヵ月間の短期留学をしましたが、そのときは英語が全然分からなくて困りました。いま思えばそれが大きなバネとなって、英語を学び直すきっかけになったんです。

大学3年生の頃、マンツーマンで指導してくれる英会話学校に通い始め、社会人6年目くらいまで続けました。学校に通い始めて2年くらいで日常のコミュニケーションには不

自由を感じなくなり、仕事で使い始めて2年くらい経ったところで、ビジネスで使う英語にも自信が持てるようになりました。

Q 学生時代にやっておくべきことは？

やはり第一に英語だと思えます。私自身は長くコツコツと続けてきたことが、いま役に立っていると実感します。定期的な英語のテストを受けるなど、細かいステップで目標を立てるのもいいかもしれません。

海外旅行も、英語を使う実践の場として、また視野を広げるための手段としても、大いに経験しておきたいことのひとつです。実際に海外を見れば、真の意味での異文化理解につながるでしょうし、日本人の常識にとらわれない柔軟性を磨くこともできると思います。

Q 今後の目標を教えてください。

いずれは海外駐在に挑戦してみたいですね。そのためには、一つひとつの仕事で結果

を出していかなければいけないと思っています。「自分には何ができるのか」を会社に知ってもらえるのはとても大切なこと。そこから次のチャンスが生まれるのです。



2006年に入社し、楽天トラベルで海外の観光局やホテルに対して広告営業を行う。その後、楽天市場事業のプロモーション推進に携わり、2013年から現職。

菅又さんのお仕事 アイテム

パソコンと同じくらいに必須のアイテムが、野の引かれていない真っ白なノート。アイデアをまとめて考えを整理したりするときは、紙に書き出しながら考えます。頭の中が整理されて、おすすめです。



失敗は成功のカギ！ 留学トラブル解決策

留学
カウンセラーに
聞く

留学でよくある失敗やトラブルを知っておけば、海外留学を成功に導くための方法が見えてくる。留学カウンセラーとして30年以上の長きにわたって多くの留学生と対話してきた藤延芳子さんに、留学トラブルを回避する方策を教えていただいた。

藤延芳子さん

ヨーク国際留学センターチーフ留学カウンセラー、日本認定留学カウンセラー協会（JACSAC）会長。日本の留学カウンセラーの草分け的存在として、30年以上にわたって多くの相談者と向き合い、人間的な成長が望める最適な留学プランを提案している。ヨーク国際留学センター <http://www.york-global.jp/>

Case 05

ルームメイトの態度に不満！ どう伝えればいい？

寮のルームメイトと生活習慣が合わず、困っています。深夜まで友人と大きな声で電話したり、部屋をすぐにちらかしたり……。自分の気持ちをどのように伝えればよいでしょうか。今後のことを考えると、ルームメイトとの関係を悪化させたくありません。



Advice

ためこみは禁物。素直に伝えて

違う国、違う家庭で育った学生が寝食をともにする寮の生活では、大小問わず、いろいろな問題が起こりますよね。

たいていの場合、寮の部屋は2人で、冷蔵庫やリビング、バスルームは数人でシェアします。こうした共同生活を通して、冷蔵庫に入れていた食べものがなくなったり、家事の分担をしても相手分の仕上がりに満足できず結局自分がやり直すことになったり。そのほか、勉強に集中したいのにルームメイトが大きな音で音楽を流す、何の断りもなくボーイフレンドを部屋に連れてくるなど、寮内トラブルは多岐にわたります。

相手への不満をためこむのはよくありません。

いやなことがあれば、その都度、率直に「やめてほしい」と話しましょう。寮には「ゲストの宿泊」「門限」などに関するルールが設けられていますから、それを伝えるのもひとつの手です。一方、海外の学生から日本人学生に対しては「何も言わないから分からない」「一度OKと言ったのに……」といった、はっきりと伝えないことへの不満が募る場合もあるのです。

多様な文化習慣や価値観とぶつかり、互いに理解しながら問題を解決していくことは人間的な成長へとつながります。平穏な留学生活なんておもしろくありません。多国籍な学生が集まる寮生活は、社会に出る前の貴重な勉強の場なのです。

Case 06

勉強で余裕のない毎日。 心身ともに疲れています。

留学して半年が経ちましたが、現地の授業は難しく、毎日の予習・復習やテスト勉強で精一杯！せっかく留学したのだから、たくさんのお話を吸収し、結果を残したいと思うのですが、リフレッシュする時間ももちろん、睡眠時間すらろくに取れないのが現状です。



イラスト：よねやまゆうこ

Advice

カウンセラーなど周りに一度相談を

期間限定の留学という特別な環境で、プレッシャーを感じる学生は少なくありません。予習やレポート作成などで忙しく、特に語学力に自信のない留学生は自分を追い込んでしまうこともあるでしょう。しかし、プレッシャーを感じすぎて精神的にまいってしまい、留学生活が続けられなくなった例もあります。友人との食事や買いものといった適度な気分転換は必要ですよ。

欧米ではカウンセリングが日常生活に浸透していて、トラブルを抱えると気軽にカウンセラーに相談します。大学や語学学校には学生をケアするカウンセラーやアカデミックアドバイザーが常駐していますので、学業面に限らず、不安なことが

あれば話をしてみるといいでしょう。留学生が多いところだと、日本人スタッフがいることもあります。

以前、語学力を伸ばすために自分を日本人ではないと偽って、徹底的に英語を話す環境をつくった学生がいました。すばらしい努力ですが、同じ感覚で気軽に話せる日本人学生存在は、留学生活においてとても心強いものでもあります。どうしても厳しい環境に身をおきたい場合は、校内では必ず英語を話す「English Only Policy」を謳った学校を選ぶという方法も。留学中に目的を持って一所懸命勉強することは大切ですが、「楽しむ」ことも忘れないでください。

BOOK REVIEW

未来の
グローバル
リーダーに

読んでほしい1冊——『この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう』

これからを生き抜くための教養とは

2012年に東京工業大学で行われた池上彰氏による講義「現代世界の歩き方」を収録した本書は、これからを生き抜くための教養の役割と位置づけを読者に説く一冊だ。

本書の冒頭には「学際的教養」という言葉が登場する。「学際的」とは、研究が複数の学問分野にまたがる様子を指すが、これはすなわち、自分の専門のみにとらわれない広い視野を持つということだ。さまざまな分野に知識や理解を持つことが「知の地図」を広げるポイントとなる。学問に限らず、物事を見

る視点の広さに関しても重要性が説かれている。物事には常に複数のとらえ方や真実があり、それらを受け入れる姿勢が、知の地図をより豊かなものにするという。さらには著者は、最終的に求められるのは、自分の頭で考えた独自の見解を発信していく能力である、と続ける。つまり、地図を持つことだけが重要なのではなく、いかに自分でその情報を使って判断し、見解を作りあげることが重要であるというのだ。そのために、広い知識と深い理解、すなわち教養を土壌とし

て持つことは、質の高いアウトプットを生成するために必須であることが理解できる。

「難しいことを分かりやすく」、をモットーにさまざまなメディアで活躍されている池上氏だが、やはり本書も非常に理解しやすい解説と問題へのアプローチが特徴的だ。教養がある人とは、どんな人だろうか。そんな疑問を持ったとき、ぜひ手に取ってみることをおすすめする。

(英検グローバルリーダー研究グループ

齊藤八重)



池上彰著 文藝春秋 / 1,620円(税込)

奨学金情報

みなさんの留学をサポートしてくれる奨学金制度をご紹介します。それぞれ、年齢や居住地域など応募条件が異なるため、必ず事前に問い合わせしてから応募しよう。

1) 給付元 2) 募集期間 3) 募集人数 4) 給付内容 5) お問い合わせ

日本政府奨学金

- **海外留学支援制度（大学院学位取得型）**
 - 1) 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
 - 2) 在籍大学に問い合わせ
 - 3) 未定
 - 4) 月額 89,000 円～ 148,000 円（派遣先地域による）、授業料実費（上限 250 万円）
 - 5) 03-5520-6014（留学生事業部海外留学支援課 大学院学位取得型担当）
- **海外留学支援制度（協定派遣）**
 - 1) 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
 - 2) 在籍大学に問合せ
 - 3) 未定
 - 4) 月額 6 万円～ 10 万円（派遣先地域による）
 - 5) 03-5520-6014（留学生事業部海外留学支援課 短期留学（派遣）担当）

地方自治体奨学金

- **茨木市国際親善都市協会 留学生奨学金**
 - 1) 茨木市国際親善都市協会
 - 2) 5 月頃
 - 3) 未定
 - 4) 年額 6 万円
 - 5) 072-620-1810
- **埼玉県・オハイオ州スカラシップ 機械工学系**
 - 1) ニッシン・ブレイキ・オハイオからフィンドレー大学に寄附
 - 2) 10 月初旬～
 - 3) 2 名
 - 4) 2 万ドル（授業料、住居費等）
 - 5) 048-830-2713（県民生活部 国際課 国際戦略担当）
- **埼玉県・オハイオ州スカラシップ 総合系**
 - 1) 埼玉県
 - 2) 10 月初旬～
 - 3) 1 名
 - 4) 授業料
 - 5) 048-830-2713（県民生活部 国際課 国際戦略担当）
- **「埼玉発世界行き」学位取得コース**
 - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
 - 2) 4 月下旬～6 月上旬
 - 3) 15 名以内
 - 4) ①年間世帯所得が 600 万円未満の方、年間 100 万円以内 ②同 600 万円以上 800 万円未満の方、年間 75 万円以内 ③同 800 万円以上の方、年間 50 万円以内
 - 5) 048-833-2995（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター埼玉
- **「埼玉発世界行き」協定・認定留学コース**
 - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
 - 2) 4 月下旬～6 月上旬
 - 3) 200 名以内
 - 4) 20 万円以内
 - 5) 048-833-2995（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター埼玉
- **「埼玉発世界行き」高校生留学コース**
 - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
 - 2) 4 月下旬～6 月上旬
 - 3) 50 名程度
 - 4) ①保護者の所得が 600 万円未満の場合：留学期間 179 日以下 30 万円、留学期間 180 日以上 60 万円 ②保護者の所得が 600 万円以上 800 万円未満の場合：留学期間 179 日以下 23 万円、留学期間 180 日以上 45 万円 ③保護者の所得が 800 万円以上の場合：留学期間 179 日以下 15 万円、留学期間 180 日以上 30 万円
 - 5) 048-830-2711 埼玉県県民生活部国際課 グローバル人材育成担当

● 戸田市海外留学奨学制度

- 1) 埼玉県戸田市
- 2) 第 1 回：7 月初旬～
- 3) 第 2 回：2015 年 1 月 16 日～2 月 6 日まで
- 3) 若干名
- 4) 授業料及び生活費、渡航費（限度額あり）
- 5) 048-424-9582（教育委員会 教育総務課 総務担当）

●（公財）長岡市米百俵財団 海外高校留学生奨学金

- 1)（公財）長岡市米百俵財団
- 2) 8 月初旬～
- 3) 3 名
- 4) AFS または YFU のプログラム参加費
- 5) 0258-39-2238（事務局）

●（公財）新潟市国際交流協会 新潟市高校生留学支援事業

- 1)（公財）新潟市国際交流協会
- 2) A 日程：6 月初旬～、B 日程：7 月初旬～
- 3) 3 名
- 4) AFS プログラム参加費の半額
- 5) 025-225-2727（高校生留学支援事業係）

● 松本・土井アイリン海外留学助成金

- 1) 宝塚市
- 2) 第 2 回：2014 年 12 月 12 日～
- 3) 第 3 回：2015 年 2 月 13 日～
- 3) 未定
- 4) 留学 1 回につき 60 万円
- 5) 0797-77-2009（産業文化部 宝のまち創造室 文化政策課）

● 三重県私費海外留学生奨学金

- 1) 三重県
- 2) 3 月上旬～4 月中旬
- 3) 10 名以内
- 4) 年間授業料相当額（上限あり）
- 5) 059-223-5006（（公財）三重県国際交流財団）

● 瑞穂町海外留学奨学資金等支給制度

- 1) 瑞穂町教育振興基金
- 2) 毎年 6 月 1 日～6 月 30 日（第 1 期）
- 3) 毎年 1 月 4 日～1 月 31 日（第 2 期）
- 3) 若干名
- 4) 奨学資金（留学先学校の授業料またはこれに準ずると認められる費用）、渡航費（限度額あり）
- 5) 042-557-7469（企画部 企画課 企画係）

● 山梨県アイオワ州短期派遣留学生

- 1) アイオワ州姉妹州委員会または留学先
- 2) 4 月中旬～
- 3) 1 名
- 4) 12 単位分の授業料など
- 5) 055-223-1436（山梨県観光部 国際交流課 国際交流担当）

● 山梨県派遣留学生

- 1) 忠清北道
- 2) 1 月上旬～
- 3) 1 名
- 4) 支度料、滞在費、国内旅費、語学研修費、宿舍管理費、厚生費など
- 5) 055-223-1436（山梨県観光部国際交流課 国際交流担当）

● 四日市市科学教育奨学金

- 1) 四日市市教育委員会
- 2) 5 月～7 月頃
- 3) 毎年 1 人
- 4) 月額 10 万円
- 5) 059-354-8236（教育総務課）

● 淀江町青少年ゆめ基金活用事業補助金

- 1) 淀江町青少年ゆめ基金活用委員会
- 2) 未定 3) 未定
- 4) 学費、渡航費を 200 万円まで
- 5) 0859-56-3164

民間団体奨学金

- **IRENA Scholarship Programme**
 - 1) 国際再生可能エネルギー機関（IRENA）
 - 2) 5 月末～
 - 3) 最大 20 名
 - 4) 授業料、教材費、ノートパソコン、医療保険、住居費、旅費、一部生活費など
 - 5) scholars@irena.org
- **（公財）アステラス病態代謝研究会 海外留学補助金**
 - 1)（公財）アステラス病態代謝研究会
 - 2) 4 月～6 月上旬
 - 3) 10 名程度
 - 4) 1 名あたり 200 万円
 - 5) 03-3244-3397（事務局）
- **（公財）飯塚教育英会 海外留学支援奨学金**
 - 1)（公財）飯塚教育英会
 - 2) 6 月中旬～7 月中旬
 - 3) 15 名程度
 - 4) 大学生：年額 40 万円 大学院修士課程：年額 60 万円 大学院博士課程：年額 80 万円
 - 5) 028-649-2121（事務局）

- **（公財）石橋財団奨学金（日本国際教育支援協会冠奨学金）**
 - 1)（公財）石橋財団
 - 2) 6 月中
 - 3) 5 名
 - 4) 月額 15 万円
 - 5) 03-5454-5274（（公財）日本国際教育支援協会 国際交流課 奨学係／担当：藤田）
- **（公財）伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金**
 - 1)（公財）伊藤国際教育交流財団
 - 2) 6 月下旬～8 月下旬
 - 3) 13 名程度
 - 4) プログラム A：生活費月額 US2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費 プログラム B：生活費月額 US1500～2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費
 - 5) 03-3299-7872（事務局）

- **石橋財団奨学金（日本国際教育支援協会冠奨学金）**
 - 1)（公財）石橋財団
 - 2) 6 月中
 - 3) 5 名
 - 4) 月額 15 万円
 - 5) 03-5454-5274（（公財）日本国際教育支援協会 国際交流課 奨学係／担当：藤田）
- **（公財）伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金**
 - 1)（公財）伊藤国際教育交流財団
 - 2) 6 月下旬～8 月下旬
 - 3) 13 名程度
 - 4) プログラム A：生活費月額 US2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費 プログラム B：生活費月額 US1500～2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費
 - 5) 03-3299-7872（事務局）

- **（公財）伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金**
 - 1)（公財）伊藤国際教育交流財団
 - 2) 6 月下旬～8 月下旬
 - 3) 13 名程度
 - 4) プログラム A：生活費月額 US2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費 プログラム B：生活費月額 US1500～2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費
 - 5) 03-3299-7872（事務局）
- **イリノイ大学日本同窓会 小山八郎記念奨学制度**
 - 1) イリノイ大学日本同窓会
 - 2) 5 月～10 月頃
 - 3) 4 名
 - 4) 年間授業料
 - 5) masa.furuichi@illini-club.jp（小山八郎記念奨学制度担当理事：古市）

- **オリエント財団奨学金**
 - 1) Fundacao Oriente
 - 2) 毎年 1 月
 - 3) 若干名
 - 4) 学費、渡航費など
 - 5) info@oriente.pt
- **Kiyok Sakaguchi 奨学金**
 - 1) フルデンシャル生命保険株式会社
 - 2) 6 月～9 月 3) 1、2 名
 - 4) 授業料年間最大 300 万円、最長 4 年
 - 5) 03-5501-5500（代表）

- **（公財）グループ・バンクロフト基金 奨学金制度**
 - 1)（公財）グループ・バンクロフト基金
 - 2) 9 月中旬～
 - 3) 3～5 名
 - 4) ①毎年 200 万円を 4 年間支給。ただし留学先より授業料（全額）を免除される場合は、生活費として 100 万円を 4 年間支給（3 名） ②毎年 100 万円を 4 年間支給（2 名）
 - 5) 03-3408-6343
- **群馬県大学生海外留学奨学金**
 - 1)（公財）ぐんま国際教育財団
 - 2) 在籍大学に問い合わせ
 - 3) 一般留学：3 名 研修留学：5 名
 - 4) 一般留学：60 万円 研修留学：30 万円
 - 5) 0276-60-3450

- **公益信託グラクソ・スミスクライン国際奨学基金**
 - 1) グラクソ・スミスクライン株式会社
 - 2) 4 月上旬～5 月中旬
 - 3) 3 名以内
 - 4) 年額 360 万円を 2 年間支給
 - 5) 03-5786-5000（代表）
- **皇太子明仁親王奨学金**
 - 1) 皇太子明仁親王奨学金財団およびハイウェイ大学財団
 - 2) 11 月中
 - 3) 1 名
 - 4) ハワイ大学の学費、生活費等として年間 2 万 5 千ドル、渡航旅費（上限あり）
 - 5) 03-6741-0161（皇太子明仁親王奨学金日本委員会）

- **交流協会奨学金留学生**
 - 1)（公財）交流協会
 - 2) 10 月下旬～
 - 3) 若干名
 - 4) 奨学金：14 万 4000 円（修士課程及び専門職学位課程）、14 万 5000 円（博士課程）の月額基本額に加え、特定の地域で修学・研究する者に対して、月額 2000 円又は 3000 円を加算して支給、授業料など
 - 5) 03-5573-2600（総務部 奨学金担当）
- **国際ロータリー グローバル補助金奨学金**
 - 1) 国際ロータリーのロータリー財団
 - 2) 随時募集中 3) 未定
 - 4) 活動内容による
 - 5) 03-5439-5805（国際ロータリー日本事務局財団室）

- **国際ロータリー 新地区補助金奨学金**
 - 1) 国際ロータリーの各地区のロータリー財団
 - 2) 各地区により異なる
 - 3) 各地区により異なる
 - 4) 各地区により異なる
 - 5) 03-5439-5805（国際ロータリー日本事務局財団室）
- **佐藤陽国際奨学財団 海外派遣留学生奨学制度**
 - 1)（公財）佐藤陽国際奨学財団
 - 2) 未定 3) 未定
 - 4) 奨学金月額 8 万円、渡航費 25 万円、交換留学一時金 10 万円
 - 5) 03-5487-2775（事務局）

- **（公財）グルー・バンクロフト基金 奨学金制度**
 - 1)（公財）グルー・バンクロフト基金
 - 2) 9 月中旬～
 - 3) 3～5 名
 - 4) ①毎年 200 万円を 4 年間支給。ただし留学先より授業料（全額）を免除される場合は、生活費として 100 万円を 4 年間支給（3 名） ②毎年 100 万円を 4 年間支給（2 名）
 - 5) 03-3408-6343
- **群馬県大学生海外留学奨学金**
 - 1)（公財）ぐんま国際教育財団
 - 2) 在籍大学に問い合わせ
 - 3) 一般留学：3 名 研修留学：5 名
 - 4) 一般留学：60 万円 研修留学：30 万円
 - 5) 0276-60-3450

- **（公財）松下山幸之助記念財団 松下山幸之助国際スカラシップ**
 - 1)（公財）松下山幸之助記念財団
 - 2) 6 月に HP に掲載
 - 3) 最大 10 名
 - 4) 月額 13～15 万円を 1 年または 2 年分、渡航費
 - 5) 06-6908-4488
- **村田海外留学奨学金**
 - 1)（公財）村田海外留学奨学会
 - 2) 7 月～8 月
 - 3) 2～4 名
 - 4) 学費、生活費、渡航費など留学に要する経費
 - 5) 075-681-2345（事務局）

- **（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団 「海外音楽研修費用助成」制度**
 - 1)（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団
 - 2) 4 月上旬～
 - 3) 4 名程度
 - 4) 年額 200 万円（原則 2 年間）
 - 5) 03-3349-6194
- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
 - 1)（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - 2) 9 月上旬～11 月中旬
 - 3) 若干名
 - 4) 月額 10 万円（最長 2 年間）
 - 5) 0538-32-9827

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1)（公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬～
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
 - 5) 03-5610-8103（吉田育英会事務局）
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1)（公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬～
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
 - 5) 03-5610-8103（吉田育英会事務局）

- **（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団 「海外音楽研修費用助成」制度**
 - 1)（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団
 - 2) 4 月上旬～
 - 3) 4 名程度
 - 4) 年額 200 万円（原則 2 年間）
 - 5) 03-3349-6194
- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
 - 1)（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - 2) 9 月上旬～11 月中旬
 - 3) 若干名
 - 4) 月額 10 万円（最長 2 年間）
 - 5) 0538-32-9827

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1)（公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬～
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
 - 5) 03-5610-8103（吉田育英会事務局）
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1)（公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬～
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
 - 5) 03-5610-8103（吉田育英会事務局）

- **（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団 「海外音楽研修費用助成」制度**
 - 1)（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団
 - 2) 4 月上旬～
 - 3) 4 名程度
 - 4) 年額 200 万円（原則 2 年間）
 - 5) 03-3349-6194
- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
 - 1)（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - 2) 9 月上旬～11 月中旬
 - 3) 若干名
 - 4) 月額 10 万円（最長 2 年間）
 - 5) 0538-32-9827

- **（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団 「海外音楽研修費用助成」制度**
 - 1)（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団
 - 2) 4 月上旬～
 - 3) 4 名程度
 - 4) 年額 200 万円（原則 2 年間）
 - 5) 03-3349-6194
- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
 - 1)（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - 2) 9 月上旬～11 月中旬
 - 3) 若干名
 - 4) 月額 10 万円（最長 2 年間）
 - 5) 0538-32-9827

- **（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団 「海外音楽研修費用助成」制度**
 - 1)（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団
 - 2) 4 月上旬～
 - 3) 4 名程度
 - 4) 年額 200 万円（原則 2 年間）
 - 5) 03-3349-6194
- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
 - 1)（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - 2) 9 月上旬～11 月中旬
 - 3) 若干名
 - 4) 月額 10 万円（最長 2 年間）
 - 5) 0538-32-9827

- **（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団 「海外音楽研修費用助成」制度**
 - 1)（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団
 - 2) 4 月上旬～
 - 3) 4 名程度
 - 4) 年額 200 万円（原則 2 年間）
 - 5) 03-3349-6194
- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
 - 1)（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - 2) 9 月上旬～11 月中旬
 - 3) 若干名
 - 4) 月額 10 万円（最長 2 年間）
 - 5) 0538-32-9827

- **CWAIJ 海外留学大学院女子奨学金（SA）**
 - 1) College Women's Association of Japan
 - 2) 10 月下旬～11 月上旬
 - 3) 1 名
 - 4) 300 万円
 - 5) scholarship@cwaj.org
- **静岡市国際交流協会 ネプラスカ州立大学オマハ校 牧野スカラシップ**
 - 1)（公財）静岡市国際交流協会
 - 2) 12 月 8 日（必着）
 - 3) 1 名
 - 4) 正規授業料減免など
 - 5) 054-354-2009

- **私費訪中留学生奨学金**
 - 1)（公財）東華教育文化交流財団
 - 2) 毎年 6 月
 - 3) 未定
 - 4) 月額 3 万円を 1 年間
 - 5) 03-3571-7613
- **秀桜基金留学賞**
 - 1) 秀桜基金
 - 2) 9 月～10 月末
 - 3) 3 名
 - 4) 300 万円
 - 5) 086-528-9530（秀桜基金事務局）

- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210
- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210

- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210
- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210

- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210
- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210

- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210
- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210

- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給
 - 5) 03-5770-8210
- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1)（公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2

IELTS Hot News

日本英語検定協会は、日本人学生の留学促進に向けてオーストラリア大使館とのコラボレーションを開始。また、今年4回目となる「理系大学院生のための英語プレゼンテーションコンテスト」が開催された。

オーストラリア大使館と英検が留学支援でコラボ

英検準2級以上で公立高校の留学が実現

オーストラリア大使館マーケティング事務所と日本英語検定協会が、日本人学生の海外留学の促進を目的に「コラボレーションアグリーメント」を10月3日に締結した。このコラボレーションが実現した発端は、今年初めにオーストラリアのクイーンズラン

ド州すべての公立高校に留学する際の語学力証明として、実用英語技能検定（以下、英検）が採用されたことだ。この基準が、これまで英検を採用してきた他の州よりも低く、日本人高校生の英語レベルに合わせて設定されたため、他の州でも認定基準の見直しが行われ、クイーンズランド州と同等のレベルに統一されたのである（表参照）。これによって、日本の中学3年生および高

日本における学年	必要な英検資格
中学校3年生 相当 高等学校1年生	準2級
高等学校2年生 相当	2級
高等学校3年生 相当	2級 A (2級合格でさらに正答率75%以上の上位層)

※ビクトリア州は異なる

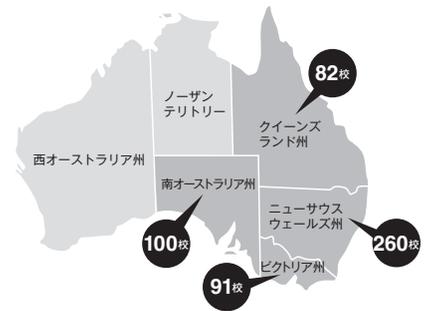
校生は、英検準2級以上に合格すればオーストラリア留学の資格を得ることになる。昨年度の実績から考えると、およそ15万人がそのチャンスを手にしたことになるのだ。

最高のロケーションで豊かな経験を積む

そもそも英検が海外の学校で語学力の証明資格として利用できるようになったのは、2004年のことだ。以来、その数は増え、現在ではアメリカやカナダなど約400の教育機関で認定されている。

今回、オーストラリア全州の留学生受け入れを行っている公立高校のおよそ90%にあたる533校で英検が採用され、そのレベル設定においても、日本の高校生には留学への

オーストラリア4つの州の公立高校で英検が認定



門戸が大きく広がり、英検受験のメリットも拡大したといえるだろう。

今回のオーストラリア大使館とのコラボレーションでは、留学を希望する学生や保護者に向けたフェアやセミナー、ワークショップなどイベントの開催、オーストラリア留学のPR活動、全国の教育委員会や中学・高等学校への招致活動などを展開していく予定だ。

オーストラリアは治安も良く、大自然に恵まれ、留学環境としては最高のロケーションだ。その魅力を発信していくことで、日本の多くの高校生に、語学力の向上はもちろん、多くの人と交流して研鑽を積んでほしいと願っている。

理系大学院生のための英語プレゼンコンテスト

国際的な学会で必須の英語のスキル

「理系大学院生のための英語プレゼンテーションコンテスト」が11月1日、大阪市北区の大阪大学中之島センターで開催された。このコンテストは、大阪大学、日本英語検定協会、ジャパンタイムズが毎年共催しているもので、今年で4回目。次世代の研究者が国際社会に向けて研究成果を英語で発表するために、スキルアップを促すのが趣旨だ。

「この種のコンテストが行われているのは、全国でもここだけです」と話すのは、主催の

大阪大学外国語学部の岡田新・英語専攻教授。「理系学生は不十分な英語力のまま海外の学会などに出席し、プレゼンテーションをしなければならないことが往々にしてあるのです。このコンテストは、そのギャップを埋めることを目的としています」。

材料工学から神経科学、宇宙科学まで、さまざまな分野を専攻する7人の学生が、4人の審査員の前で研究成果を披露した。15分のプレゼンテーションの後には、英語で行われる質疑応答が活発に行われた。

優勝者は、「排熱の効率利用について」というプレゼンテーションを行った、大阪大学



笑顔を見せる上位3名の参加者。右から4人目が見事、優勝を勝ち取った大阪大学大学院の川原賢太さん。後列は審査員。

大学院工学研究科博士前期課程2年の川原賢太さん。エネルギー消費効率を向上させる熱源発電機の可能性について発表を行った。

聞き手を引き込むプレゼン力の向上

発表者のプレゼンスキルは審査員の評価も高く、年々基準が上がっているという。閉会の挨拶で審査員は、英語のプレゼンテーションにおいては語学力よりも聞き手を引き込む力が問われているとアドバイスした。

「私たちは発表者を二つの尺度で評価しています。1つはスライドの使い方で、聞き手にとって分かりやすいかどうか。もう1点は、英語の発音、スピード、文法やジェスチャーなどです。川原さんのプレゼンはこの二点とも素晴らしかった」と大阪大学大学院工学研究科の寺井智之準教授は評価した。

卒業後は有名なエンジニアリング会社の米国社員と協力して働くことになるという川原さん。今回のコンテストは、その絶好の準備となったようだ。



IELTS™

And one easy way to test it.
Study in the USA:

takeIELTS.org

IELTS is now accepted by more than 9,000 organisations in 135 countries around the world – including over 3,000 institutions in the USA.

BRITISH COUNCIL

英検 公益財団法人 日本英語検定協会

IELTS is jointly owned by British Council, IDP: IELTS Australia and Cambridge English Language Assessment



ブリティッシュ・
カウンシルの
講師に聞く

IELTS テストのコツ

by Peter Brereton

今回はスピーキングテストの対策について解説する。
3つのパートごとに問われる内容を知り、
スコアをアップさせるための解答のコツを覚えよう。

面接官は何を評価している?

IELTS アカデミック・モジュールのスピーキングテストでは、11～14分の間、一人の面接官を相手に試験を受けます。IELTSの中で、最も緊張するセクションだと言えるでしょう。面接官は受験者を、以下のような観点で評価します。

- 発音**: 分かりやすい英語かどうか。個々の音を正確に発音できるか、またつながる音もうまく発音できていて、イントネーションが自然かどうか。
- 語彙**: 高度な語彙が使いこなせるか、繰り返しを避けるため、同義語や言い換えがうまくできるか、イディオムを駆使することができるか。
- 文法の使用範囲と正確さ**: 条件文や受動態など複雑な文を作ることができるか、ミスなく長い文を作れるか。過去・現在・未来を表現する際に適した時制を使って文を組み立てられるか。
- 流暢さと一貫性**: ためらいなくある程度の長さで話せるか、考えを論理的にまとめるために接続語や表現を用いて文をつなぐことができるか。

多少のミスがあったからといって、それですべてが終わりというわけではありません。完璧に話すことができなくても、全体的に高度な話し方を維持すれば、高スコアが獲得できる可能性はあります。評価基準は、下記を参照してください。

http://takeielts.britishcouncil.org/sites/default/files/IELTS_Speaking_Assessment_Criteria_Public.pdf

試験は身近なテーマからスタート

それでは、個々のパートを見ていきましょう。

Part 1 自己紹介・あいさつ (4～5分)

最初の質問はたいいてい、仕事や勉強、住んでいるところなどについて問われ、その次に、家族や趣味などについての質問があります。自分にとって身近なテーマなので、比較的楽な気分で見守ることができるでしょう。

Part 1 で尋ねられる可能性がありそうな質問については、あらかじめ答えを準備しておき、幅広い語彙と文法を駆使して答えられるようにしておいてください。趣味は何かと聞かれて、ひとりで終えてしまうようではいけません。質問と答えの例を

1つ挙げてみます。

〈質問と解答例〉

Question: Do you like reading?

Answer: Err...not really to be honest! I guess I used to read a lot when I was a kid; we had to read novels at school and I had a subscription to a manga magazine but to be honest what I read most nowadays is e-mails from my boss! I tend to read the newspaper at weekends if I have time; I like being able to catch up on the news from the week.

〈日本語訳〉

質問: 読書は好きですか?

答え: あの……正直なところ、あまり好きではありません! 子どもの頃はたくさん本を読んでいたと思います、学校で小説を読まなければならず、またマンガ雑誌を定期購読していました。しかし、正直に言って、今私が最もよく読んでいるのは、上司からのメールです! 時間があれば週末は新聞を読んだりします。その週のニュースを把握しておきたいからです。

Part 2 スピーチ (3～4分)

面接官から、下記のような課題が書かれた紙を渡されます。(本番では英文)

自分の国で、人々が訪問してみたいと思う場所について説明しなさい。以下のようなことを含めること:

- その場所がどこにあるか
- 通常、どのようにしてそこまで行くか
- そこで何ができるか

紙を渡された後1分間、メモを取りながら、何を話すか考えをまとめる時間があります。このときに、話す文章を全て書き出そうとするのではなく、大まかな流れを決めておきましょう。導入としては、例えば以下のようなものが効果的です。

〈解答例〉

"Well, Japan is famous for its many beautiful

places that attract visitors. There is something to suit everyone, from Hokkaido in the north, which is stunning, although a little chilly in winter, to the tropical islands of Okinawa in the south with its gorgeous sandy beaches. However, one place that I think visitors particularly like is Kyoto."

〈日本語訳〉

そうですね、日本には訪れる人を魅了する美しい場所がたくさんあります。誰にでも合うところがあるかあります。北は北海道、冬はちょっと寒いですが、素晴らしいところです、南は沖縄の熱帯の島、素敵な砂のビーチがあります。しかし、訪れる人が特に気に入る場所として私が1つ考えられるのは、京都です。

この場合、自分の経験や感想など、課題文に含まれていない要素を加えてもかまいません。豊富な語彙を使えることを示しつつ、少なくとも20秒くらいは話せるようにしておきましょう。

「時間稼ぎ」のフレーズを覚えよう

Part 3 ディスカッション (4～5分)

Part 2 に関連したテーマにつき、面接官とディスカッションを行います。自分のことを語るのではなく、抽象的な事柄について、一般論として話せるようになっておきましょう。

ディスカッションの間、理由を示したり、現在と過去を比較したり、利点・欠点を挙げたりすることが求められるかもしれませんが、頭の中で考えながら話を進めるのは大変です。次のような「時間稼ぎ」の表現を使えるようになっておきましょう。

I've never really thought about that before.

これまでそれについて考えたことがありませんでした。

That's a really interesting question.

それはとても興味深い質問ですね。

面接官の言うことがよく理解できなかったときは、もちろん繰り返し言ってくれるよう頼んでもかまいません。自信を持って試験に臨みましょう。

IELTS™



IELTS.
The international
license.

IELTSという名の 国際免許証

IELTS (International English Language Testing System、アイエルツ) は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約8,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2012年の全世界合計の受験者数は200万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢、埼玉、松本、高知で受験することができます。

お問合せ・受験申し込みは、
公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS 事務局まで
www.eiken.or.jp/ielts

IELTSとは…

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。



ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS試験対策コースを開講中!!
www.britishcouncil.or.jp

f 勉強法や留学した人の体験談がわかる
<http://www.facebook.com/IELTS.BritishCouncilJapan>

英検 公益財団法人
日本英語検定協会

BRITISH
COUNCIL

公益財団法人 日本英語検定協会は、
ブリティッシュ・カウンシルと日本での
IELTSを共同運営しています

IELTS 対策コースナビ

Vol. 7

SI-UK ～ライティング編～

留学先でも役に立つ アカデミックな文章の基本

留学準備をサポートする多くの機関やスクールが、IELTS 対策に的を絞ったコースを開講している。今回からは、世界各国に8つのオフィスをもち、90カ国以上の学生や社会人を英国留学へと導くSI-UKに、IELTS 対策コースについて聞いてみよう。

自己流は不可 スタイルを守って書く

IELTS のライティングテストは、60 分の間に一定以上の長い文章を2つ書かなければならないところに特徴がある。1つは「図や表・グラフを見て、その内容を150語以上でまとめる」というTASK 1、もう1つは、「与えられたトピックについて、自分の意見や考えを250語以上でまとめる」というTASK 2だ。イギリスの大学・大学院への留学サポートを専門に扱うSI-UK 語学センター長の鈴木ポーラさんはこう話す。

「ライティングは自分で対策することが難しく、専門のプロに自分の弱点や対策方法を教わる必要があります。特にIELTSは、図や表のどこに注目して文章を書くか、与えられたト

ピックに対し、何を焦点に自分の考えを書くかなど、注意すべきポイントがある程度決まっています。初めてテストを受ける人は、戸惑うことが多いようです。英語の文章を書くときは、意見や説明を漠然とではなく明確に書き、批判的に文章を構成する必要があります」

SI-UK のIELTS 対策講座では、グループレッスンで4技能をカバーすると同時に、個々の技能を伸ばすための工夫を行っている。また、5日間集中的に開催する「IELTS Writing コース」で、文法や語彙、ライティングのスタイルなどを総合的に鍛えている。「IELTS Writing コースでは、クラスで課題を与え、自宅で文章を書き、次の授業でIELTS のテストの解答としてふさわしい内容になっているかどうか、ネイティブ・スピーカーの講師とともに確認します」。IELTS の

ライティングテストではアカデミックなスタイルが必要とされ、思いついたことをそのまま書いていけばいいというわけではない。「テキストに解答例があるので、それを参考にしながら、近い形の文章を作ることができるように練習します。語彙は解答例にあるものをリストアップし、自分の言葉として使うことができるよう、アドバイスしています」。

スコアを7.0まで 上げるためのコツは？

ライティングテストで高スコアを得るには、豊富な語彙力を示すことが大切で、日常会話とは異なる言い方をマスターしたい。例えば、「レポートを提出する」はgive a reportではなく、hand in a report、submit a reportのような表現を身につ

けておく必要がある。また、文章の構成は「introduction（導入）」「body（本文）」「conclusion（結論）」といった一定のスタイルを保つ必要があり、SI-UK の授業では、自分の考えをこのスタイルに当てはめてまとめるテクニックを指導する。「当初ライティングのスコアが4.0～4.5程度だった人も、必要とされる語彙を駆使して構成を整えることで、6.0まで上げることができます。さらに7.0にまで上げるには、動詞と名詞の正しい組み合わせを使う、同義語での言い換えがうまくこなせるようになる、といった力が必要です」。なお、TASK 2の配点はTASK 1の倍であることから、ポーラさんはこうアドバイスする。「TASK 2から先に始め、じっくり時間をかけて良い文章をまとめ、残された時間でTASK 1に専念しましょう」。

IELTS に対応するコース

フルタイム IELTS

100 時間で4セクションを効率よく学ぶ。週に1回、講師と1対1で現状を確認するチュートリアルも実施する。

レベル別 IELTS グループレッスン

入門・初・中・上級の4つのレベル別コースに分かれて4セクションを学ぶ。全コースが少人数制で行われる。

IELTS/Academic Writing グループレッスン

語彙力、文法力を身につけ、アカデミックな文構造やさまざまなタイプのエッセイの構成を集中的に学ぶ。

IELTS Speaking 直前対策セミナー

東京会場の試験日程に合わせ、翌日のスピーキングテストのために、土曜日の夜に開講する直前対策レッスン。

短期集中特別コース

GW や夏休みなどの連休に開講される短期コース。IELTS のレベル別コースのほかにもさまざまなコースを設定。

IELTS/Academic Writing 通信制コース

講師とEmail でやりとりをしながら、Task 1、Task 2 の、アカデミックライティングスキルの向上を目指す。

プライベートレッスン

グループレッスンを受講後、自分の弱点に特化して集中して学ぶなら、プライベートレッスンがおすすめ。

SI-UK <http://www.ukeducation.jp/>

Book IELTS 攻略本

Grammar in Use

会話に使える文法書

IELTS には文法に特化したモジュールはありませんが、文法を正しく理解し、適切に使用することは大切な要素のひとつです。本シリーズは、1 ユニット完結の見開き構成で、左ページには解説、右ページには豊富な練習問題、さらにイラストで理解を促すつくりになっています。そのまま会話に使える自然な例文を使っているので、日常のコミュニケーションにも役立ちます。

Essential Grammar in Use 本体価格 3,800 円
Grammar in Use Intermediate 本体価格 3,800 円
Advanced Grammar in Use 本体価格 3,750 円

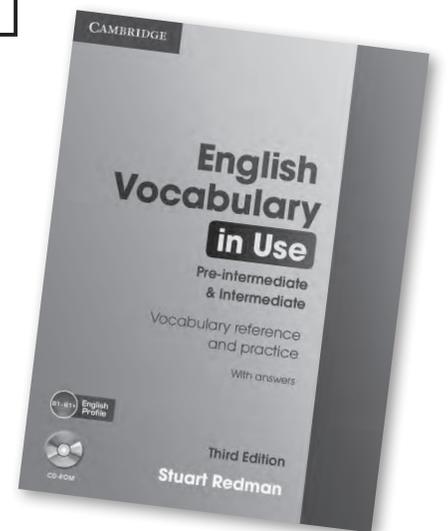


Vocabulary in Use

語彙強化の強い味方

語彙力もIELTS のスコアを上げるうえで欠かせない要素。本シリーズは「話しことば」「書きことば」で使われる数十億語を収録するケンブリッジ英語コーパスを活用し、自然な文脈のなかで単語・表現を学ぶことができます。IELTS 対策に特化したCambridge Vocabulary for IELTS とあわせて活用すれば、さらに語彙の幅が広がります。

Elementary 本体価格 3,600 円
Pre-inter and Intermediate 本体価格 3,600 円
Upper-intermediate 本体価格 3,600 円
Advance 本体価格 3,600 円



上手な
活用法

1 ユニット完結なので、どこからでも学習したいユニットを選んでスタートすることができます。巻末の「Study Guide」を活用して、苦手な文法項目を集中的に学習することもできます。

上手な
活用法

見開きごとにユニットが完結しているため、どこから学習を始めてもOK。右ページの練習問題を活用しながら、覚えるまで何度も繰り返し復習し、英単語をマスターしましょう。

Vol. 14 マンチェスター大学 井上佳苗さん

留学で培う3つの力

多文化社会だから学べること

私は、2013年9月から2014年6月までイギリスのマンチェスター大学に交換留学し、おもに国際関係学、社会学を学びました。私がイギリスへの留学を決めた理由は2つあります。1つは、「ローカルな場所で異文化を持つ人々がどうしたら協働できるか」というテーマに興味があったからです。多文化社会のマンチェスターに身を置き、実際に自分

で多文化環境の良い側面や課題を感じながら考えたいと思いました。もう1つの理由は、マンチェスター大学の学生との議論や交流を通して、英語力を伸ばすだけでなく、異なる背景を持つ人々とコミュニケーションをとる方法を学びたいと考えたからです。新しい考えに触れることで、物事をあらゆる角度から柔軟に見る力を得たいと思ったのです。

ちから

1

間違いを恐れない力

自分なりの英語を話せばいい

間違えても恐れず、くじけず、うまくいくまでトライする力が身につきました。特に英語で話すときに、単語や文法、発音を間違えることが怖くなりました。私はもともと人前で話すのが得意ではなく、見当違いなことを言うのを恐れて意見を心にしまいがちでした。英語での会話や議論になると、自信のなさからなおさら発言を避けることが多かったのです。でもイギリスに来てから、間違えてもいいから自分の考えを言葉にして伝えることが大事なのだと実感しました。

イギリスの大学では日本のように黙って授業を聞いているわけにはいきません。授業ではディスカッションが多く、何かしら意見を言うことが求められます。不慣れなディスカッションで、しかも英語を使わなくてはならず、周りの議論のスピードについていけなくて、初めは落ち込むことが何度もありました。しかし、毎回1つのテーマに対するコメントだけは言えるようにしようと決めて授業に臨んだところ、先生も他の学生も耳を傾けてくれて、良いところに気づいたと褒めてくれることもあり、とてもうれしく思いました。

あるとき、私の知っている英語とはかなり異なるアクセントを持つ英語ネイティ

ブの人と話す機会がありました。私は相手の言うことがなかなか聞き取れず、自分の言うことも伝わらずに、申し訳ないと謝ったところ、「自分には自分の英語、君には君の英語がある」と言われ、はっと気づきました。マンチェスター大学には世界各地から学生が集まり、母語が英語でない人もいますし、みな違った英語を話す、私も私なりに話せばよいのだと。そのときは、理解できるまで聞き返し、伝わるまで説明し続けて、普段よりコミュニケーションを楽しむことができました。間違いを恐れずに自分の考えを伝えることを最優先し、間違えても何度もトライして成功したときには、大きな達成感が得られることを学びました。

自分の英語を話せばいいと気づかせてくれた友人。



ちから

2

自分を分析する力

自己を見つめ直して新たな発見

日本にいたときは、あまり自分自身を見つめてこなかったように思います。いつも、あれをやりたいこれをやりたいと先のことばかり考えて、肝心な今の自分がどうか、深く考えたことがなかったのです。しかし、留学してからは、自分の長所、短所、好きなこと、嫌いなこと、あらゆることをこれまで以上に実感することになりました。

今までは異なる環境や言語の中で、うまくいかないことがあればその原因を求め、自分がどういう状況でどんな行動をとり、それがどのような結果をもたらすのか、ということを考えるようになりました。例えば、私は1つのことに集中すると周りに気が回らなくなってしまいます。課題などで忙しいと、せっかく友だちが話を盛り上げてくれているのに、頭の中は課題でいっぱいになり、それに答えることができなくなるのです。だから、「時間にも心にも余裕を持つよう心がける」という

新しい目標を立てました。取るに足りない目標かもしれませんが、これまで私が見落としてきたことです。

また、留学先ではよく日本について聞かれますが、自分が悪いのほかきちんと答えられないことに気づき、日本人や日本での生活について考えるようになりました。私は茶道が好きで日本文化を紹介するために披露したことがありますが、知っているのと理解しているのとはまた別物で、なぜそうなのかと質問されたときに答えに困ることがありました。これからは「どうしてそうなのか」ということについても考えていきたいです。

それから、本当に好きなことも分かりました。私は絵が描くのが好きですが、イ

ギリスではストレスを発散するために、今までになく絵を描きました。そのせいもあって、自信を持ってこれが自分の特技だと言えるようになりました。この留学は、自分自身を見つめて自己を形成するのに大いに役に立ちたと感じています。

違う色の電話ボックスを見つけるのも楽しい。



出会った友人のバックグラウンドはさまざま。

ちから

3

異文化を尊重する力

一人ひとりと向き合う大切さ

留学先では全く異なる背景を持つ人たちと友だちになりました。驚いたことに、その多くがイギリス以外の国から来ており、複雑な背景を持っていました。

シンガポールから来た友人は、中国人とインドネシア人の両親がいます。イギリス人でありながら、両親がイタリア人とコロンビア人という友人もいます。日本人の両親を持ち、日本で生まれ育った自分にとっては、彼らとコミュニケーションをと

るにはたくさん頭を働かせる必要がありました。

彼らのアイデンティティや文化について尋ねるときは、注意を払いながら質問をします。例えば、イギリスで生まれ育った友人にイギリスの家庭料理について聞いてみると、親の出身が異なるため、イタリアンしか食べない、インディアンしか食べない、などという答えが返ってくる場合があります。自分のなかにあるイメージ

を確認するために「○○という国はこうだよ」と質問すると、いや、それは違うと言われることもあります。偏見を持たないためにも、国だけを見るのではなく、一人ひとりと向き合うことの大切さ、そして、先入観を払拭するためにも直接聞いてみる必要性を感じました。

また、異文化の人と接するときには、当然のことながら宗教や主義も考慮する必要があります。ムスリムの友人に食事を振る舞うときは、何が食べられるのかを

はっきり聞き、慎重に食材を選ぶ必要があります。ベジタリアンやビーガンの人も多く、食事の際にはその確認もしなければなりません。よくよく考えると、こういった他者に対する配慮は同じ日本人であっても必要なことですが、相手が日本人だと無意識のうちに自分と同じだろうと思って忘れてしまいがちです。異文化交流とは、単に文化、国の違いを認識することのみならず、その人自身と向き合うことなのだと感じます。

アメリカと日本の メリットを併せ持つ テンプル大学ジャパンキャンパス

海外に留学するのは少し敷居が高いが、英語で学問を学んでみたいと思ったり、国際的な環境の中で生活してみたいと思っている人は多いのではないだろうか。東京・麻布のテンプル大学ジャパンキャンパス（Temple University, Japan Campus = TUJ）は、長い伝統を持つアメリカの州立総合大学・テンプル大学の日本校。学生の半数以上が外国籍で、授業はすべて英語で行われる。ディスカッションやプレゼンテーションを伴う実践的な授業により、高い英語力が養われるのはもちろん、バラエティに富んだ国籍の教員や学生と接する日々を通じ、国際的に活躍するための素養や感覚も身につく。ここでは、テンプル大学ジャパンキャンパスの3つの大きな特長を紹介しよう。

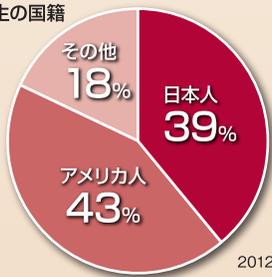
日本で入学・卒業できる 唯一のアメリカの州立総合大学

TUJは1982年に東京に開校。文部科学省が日本で最初に指定した「外国大学の日本校」である。現在、日本国内でアメリカの大学の準学士号・学士号・修士号・博士号を取得することができる唯一の大学だ。アメリカ本校をはじめ海外の大学への編入が容易で、国内外の大学院への進学もスムーズ。何より、アメリカの大学を卒業したという肩書は、将来グローバルな環境の中で仕事をするようになったとき、大きな意味を持つはずだ。

入学時期は秋・春・夏の3回。入学後も専攻学科の変更が可能という柔軟なシステムもアメリカの大学ならではの。日本式の入学試験はなく、高校の成績やIELTSなどの英語力を証明する書類を提出して、入学審査を受けることになる。



学生の国籍



2012年春季

世界50カ国から学生が集まる グローバルな学習環境

授業は、日本の大学の講義形式とは大きく異なり、少人数制でディスカッションを行うスタイルだ。本校があるアメリカを中心に、イギリス、フランス、ドイツ、インド、ブラジルなど世界各地50カ国以上から学生が集まり、約6割は外国籍。密度の高い授業やキャンパスライフを通じて、さまざまなバックグラウンドを持つ友人を作ることができる。いったん社会に出てから、仕事に必要なスキルを身につけるためTUJに再入学する人もいて、年齢層も多様だ。

いきなり英語で授業を受けるのが不安だという日本人学生のためには、アカデミック・スキルや英語力を養うプログラムが用意されており、IELTSスコアが4.0の人も、必要なプログラムを取ることで、条件付き入学が可能。海外経験のない日本の高校の卒業生も、多数学んでいる。

充実したキャリアサポートと 高い就職率 96.8%

留学を考えると、就職活動との兼ね合いを心配することもあるかもしれないが、TUJでは、日本国内でじっくりと準備を進めることができる。同大就職部では、1年次からキャリアプランセミナーを実施。本格的な就職活動を前に、英文履歴書の書き方などをきめ細かくサポートしてくれる。外資系企業への就職を考えている場合にも安心だ。

また、専攻学科によってはインターンシップを、少なくとも140時間経験することが求められており、これらは卒業単位に組み込まれている。つまり、在学時から、国際的な企業で仕事の現場を体験することができるということだ。現在は外資系、日系企業でも英語力と高度な国際コミュニケーション能力が求められており、即戦力として期待されているTUJの学生は、96.8%という高い就職率を誇っているようだ。



オープンキャンパス (大学説明会)

大学紹介や入学案内に加えて、キャンパスツアーや在学生の体験談紹介も実施。

今後の開催日程

2014年12月7日(日) 13:00～
2015年1月25日(日) 13:00～
2月15日(日) 13:00～

受付/12:30～

会場/テンプル大学ジャパンキャンパス
麻布校舎

詳しくは、
<http://www.tuj.ac.jp/is>